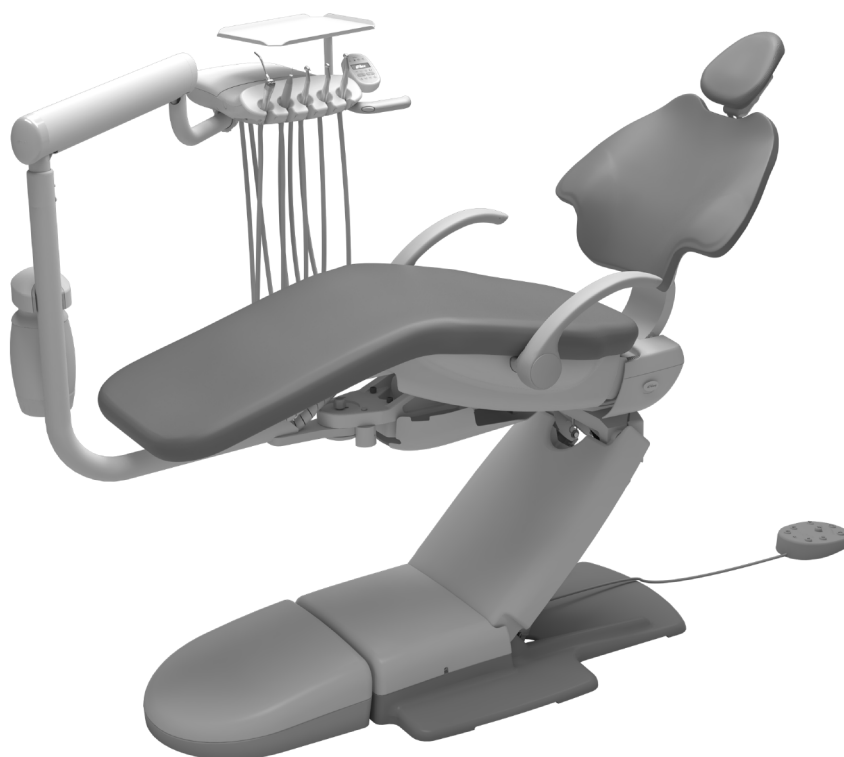


A-dec 511 歯科用椅子への A-dec 332/333/336 デリバリーシステムの 取り付け

サービスガイド

目次

開始する前に	2
チェアの準備	3
正面取付部の取り付け	5
固定アームの取り付け	12
デリバリーシステムの 取り付け	23
ワイヤーとデータ回線の 接続	35
チューブの接続	37
フロアボックスユーティ リティの接続	43
システムの準備	45
システムの調整	46
タッチパッドとハンドピースの 設定のカスタマイズ	60
システムのテスト	63
規制情報および保証	64



A-dec 511A 歯科用椅子に取り付けられた A-dec 332 Traditional
デリバリーシステム

本書で取り扱う機種とバージョン

機種	バージョン	説明
332/333/336	A	デリバリーシステム
511	A	歯科用椅子

開始する前に



注意 カバーの取り外しや取り付けの際に、ワイヤーやチューブが損傷しないよう注意してください。また、カバーを再度取り付けた後は、しっかりと固定されていることを確認してください。



注記 回路基板は静電気の影響を受けやすい部品です。回路基板に触れる場合、あるいは回路基板への接続または回路基板からの接続を行う場合は、静電放電 (ESD) 対策が必要です。回路基板の取り付けは、必ず電気技師または適切な資格を持った整備担当者が行ってください。



注 本書では、正しく取り付けるために重要な情報をこの注のように背景色付きで示します。

- 手動空気遮断弁および水遮断弁が設置されていることを確認してください。
- 空気および水ラインからすべての残屑を一掃してください。
- お住まいの地域の建物・規格管理機関に設置要件を確認してください。

推奨する工具

- | | | |
|--|---------------------|----------------|
| • 六角レンチセット | • プラスドライバー | • スリーブプッシャー |
| • トルクレンチ (5/8 インチおよび 3/4 インチのオープンエンドアダプター付き) | • 斜ニッパー | • 電圧計 |
| • 5/8 インチ、3/4 インチ、15/16 インチのソケットとラチェット | • 水準器 | • アンビリカルスネーク |
| • 5/8 インチ、3/4 インチ、15/16 インチのコンビネーション・レンチ | • 7/16 インチのナットドライバー | • ハンドピースの圧力ゲージ |

チェアの準備

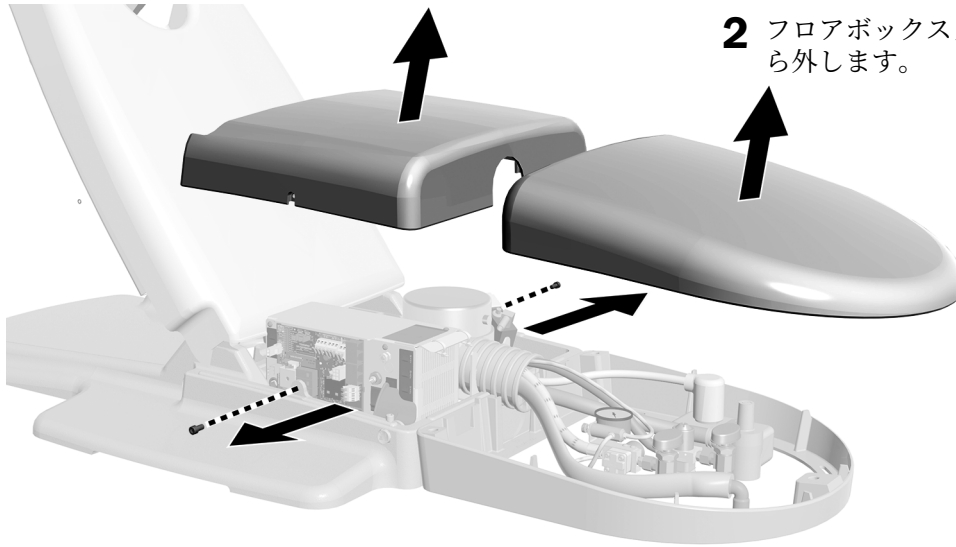
推奨する工具

- 3/16 インチの六角レンチ

手順 1.

1 ポンプカバーを取り外します。

2 フロアボックスカバーを引き上げてフレームから外します。

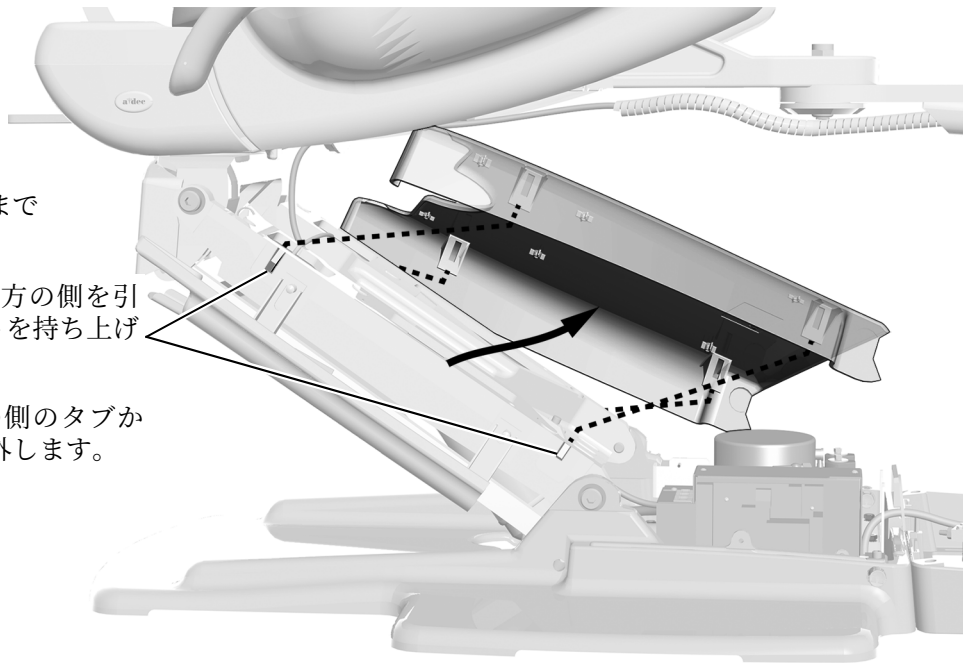


手順 2.

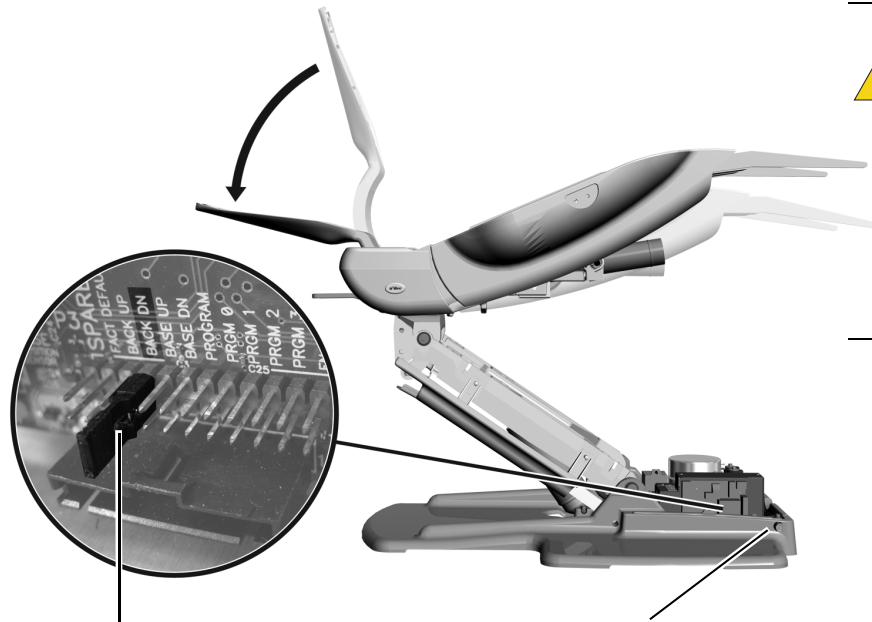
1 チェアを半分ほどの位置まで上昇させます。

2 リフトアームのカバーの一方の側を引き上げて、タブからスロットを持ち上げます。

3 リフトアームのもう一方の側のタブからカバーをスライドさせて外します。



手順 3.



注記 回路基板は静電気の影響を受けやすい部品です。回路基板に触れる場合、あるいは回路基板への接続または回路基板からの接続を行う場合は、静電放電 (ESD) 対策が必要です。回路基板の取り付けは、必ず電気技師または適切な資格を持った整備担当者が行ってください。

1 電源を入れます。

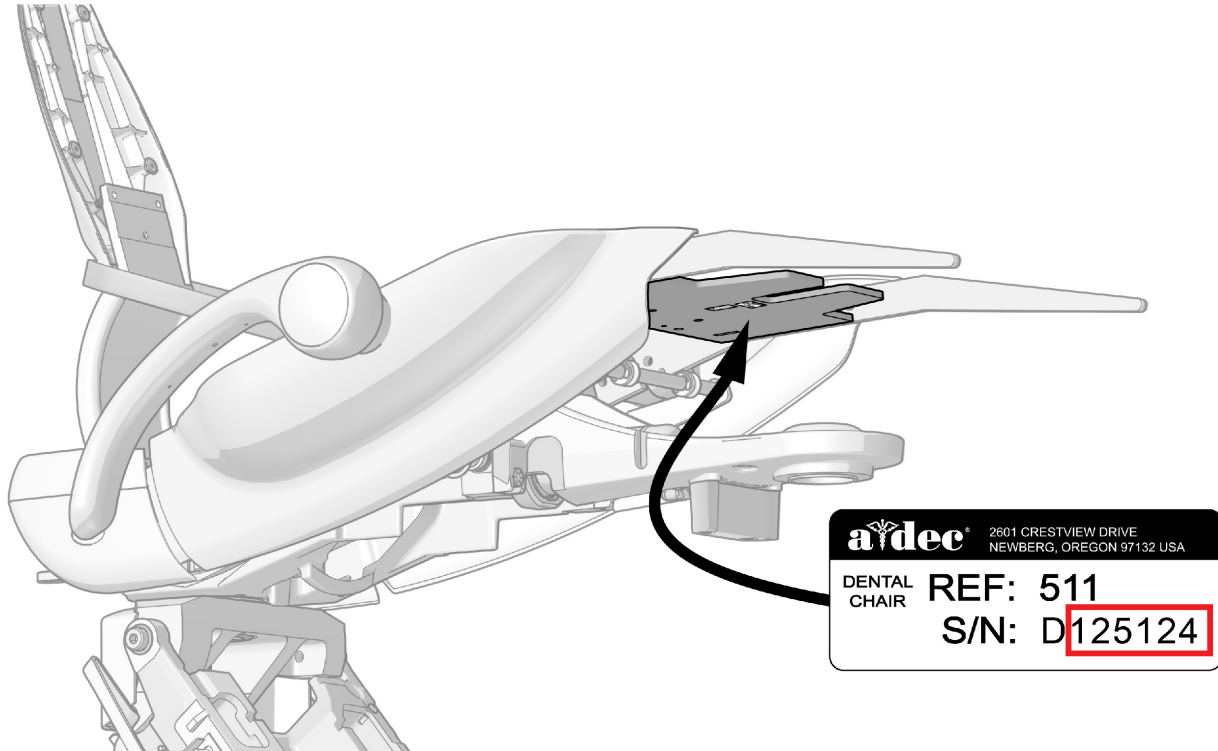
2 チェアの背板を下げるには、ジャンパーを [BACK DN] の位置に動かします。

3 チェアの背板が限界まで下がったら、ジャンパーを [SPARE] の位置に戻します。

正面取付部の取り付け

チェアの製造時期に応じて、以下の手順を実行してください。

チェアがいつ製造されたかについては、シートフレームの裏側にあるシリアル番号をご覧ください。



シリアル番号 D125124 が、2011 年 4 月よりも後に製造されたチェアを区別する分割点となります。

- 2011 年 4 月およびそれ以前のチェア - シリアル番号の数字部分が 125124 以下。
- 2011 年 4 月よりも後のチェア - シリアル番号の数字部分が 125124 よりも大きい、7桁を超える。

A-dec 511A 歯科用椅子 - 2011 年 4 月およびそれ以前に製造されたもの 6 ページ

A-dec 511A 歯科用椅子 - 2011 年 4 月よりも後に製造されたもの..... 10 ページ

2011年4月およびそれ以前に製造されたA-dec 511A歯科用椅子への正面取付部の取り付け

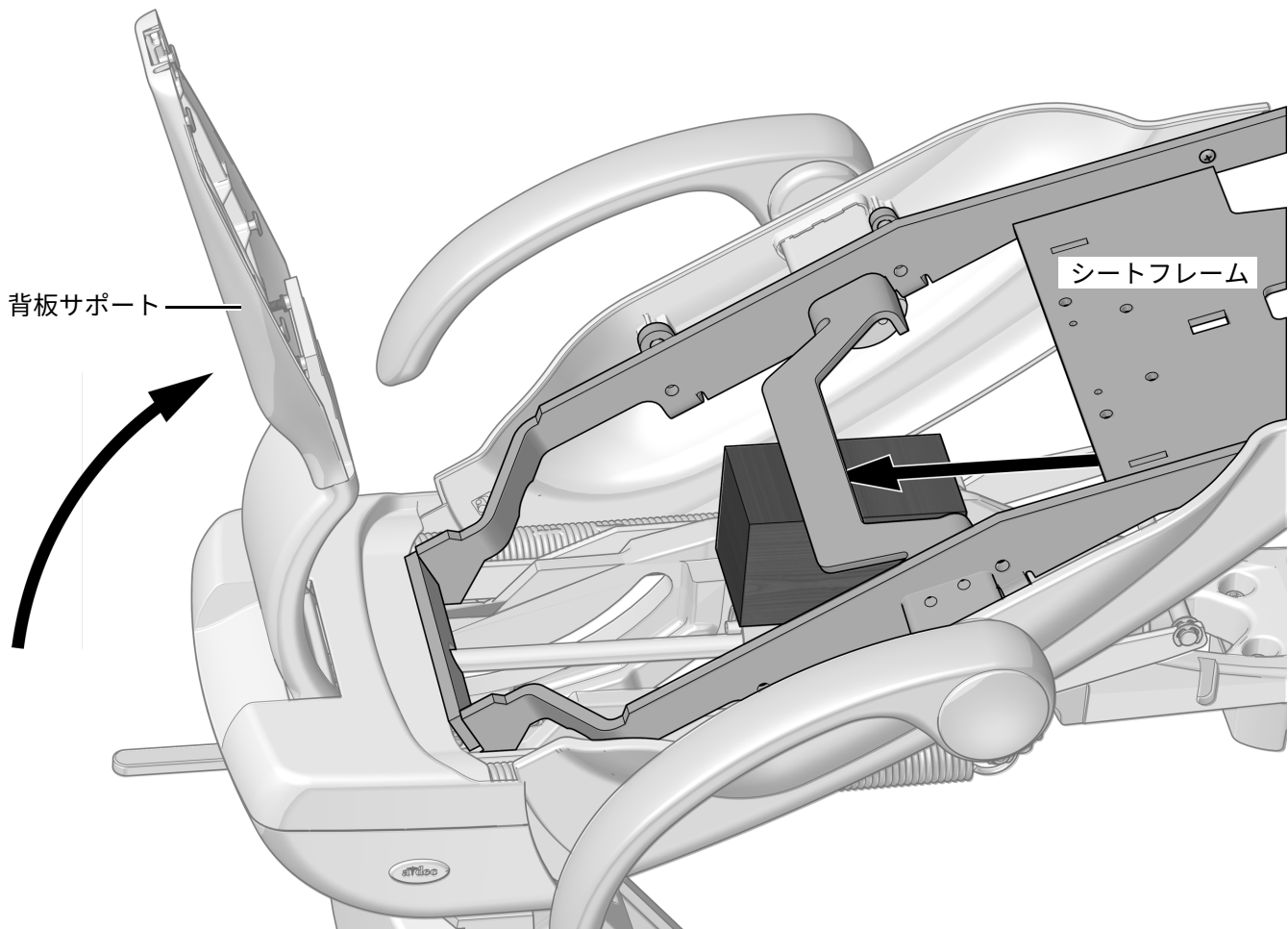
推奨する工具

- 1/4 インチの六角レンチ
- 3/4 インチのソケットとラチェット
- トルクレンチ (5/8 インチのオープンエンドアダプター付き)
- トルクレンチ (3/4 インチのオープンエンドアダプター付き)

手順 1.



確認 正面取付部に取り付けられている機器がある場合は、それらのモジュールと正面取付部を取り外してからこの手順を行ってください。



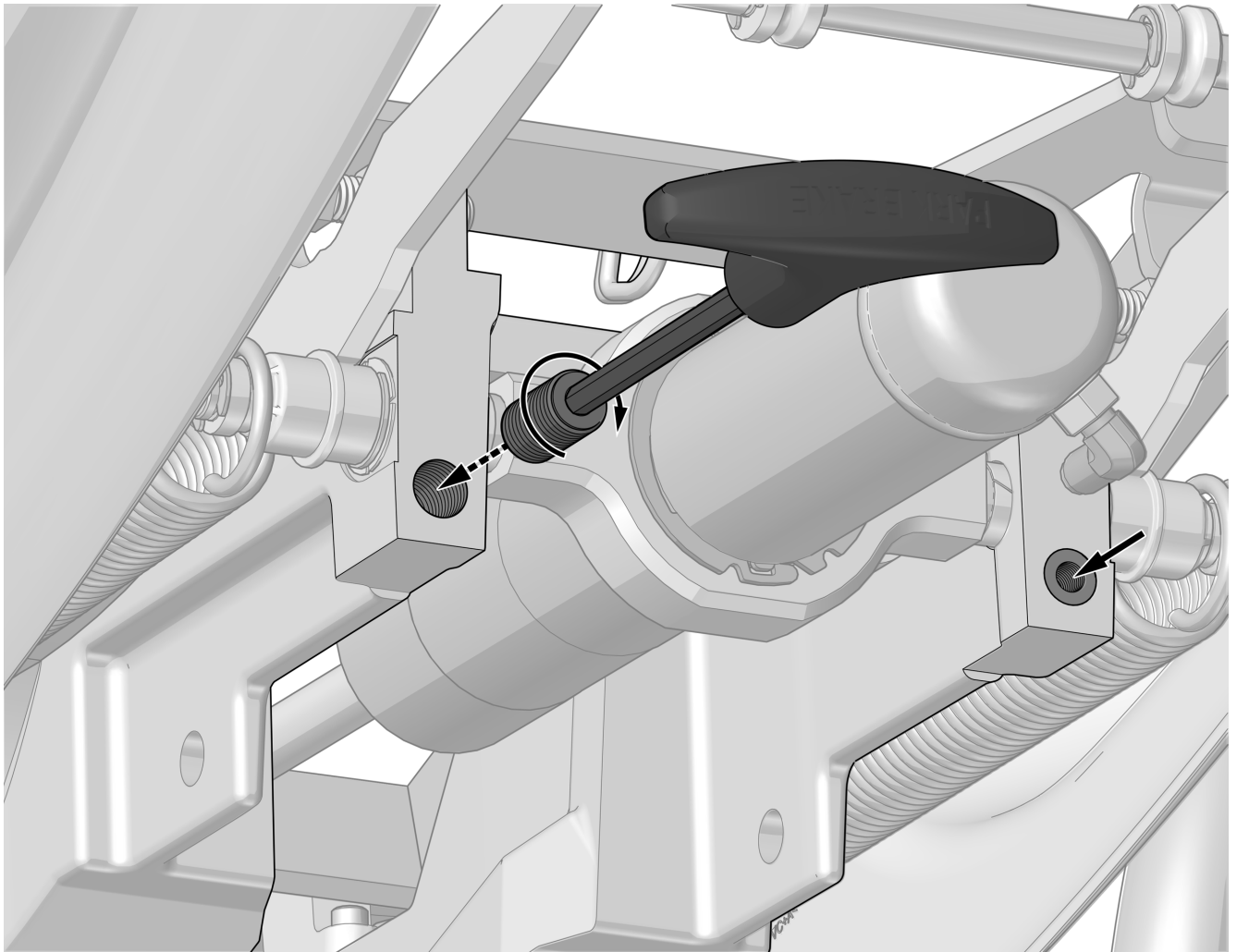
- 1 背板サポートを限界まで上げます。
- 2 シートフレームを持ち上げ、シートフレームと上部構造の間に木製のブロックを置きます。これにより、固定アームを取り付ける際、上部構造正面部にアクセスしやすくなります。

手順 2.

- 1 1/4 インチの六角レンチを使用して、2 つのアダプターを上部構造の穴にねじ込み、アダプターが上部構造の表面と同一平面になるようにします。

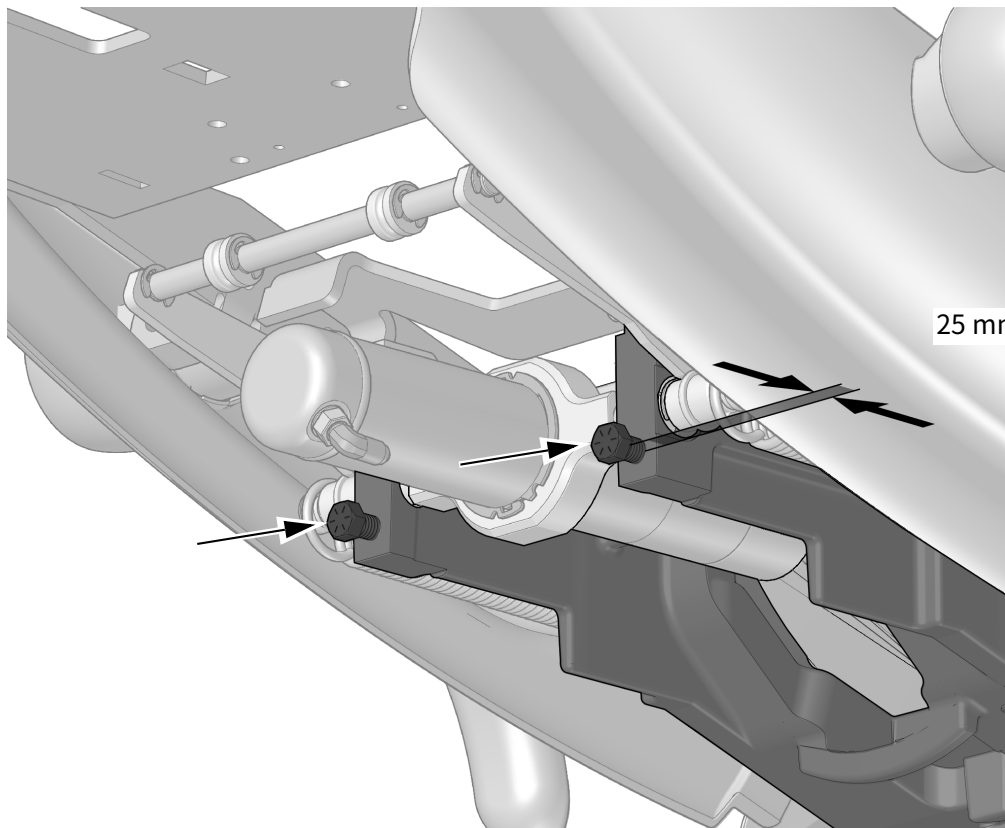


注 六角レンチをアダプターの開口部から挿入し、六角形の接合部をアダプター後部に嵌合させます。



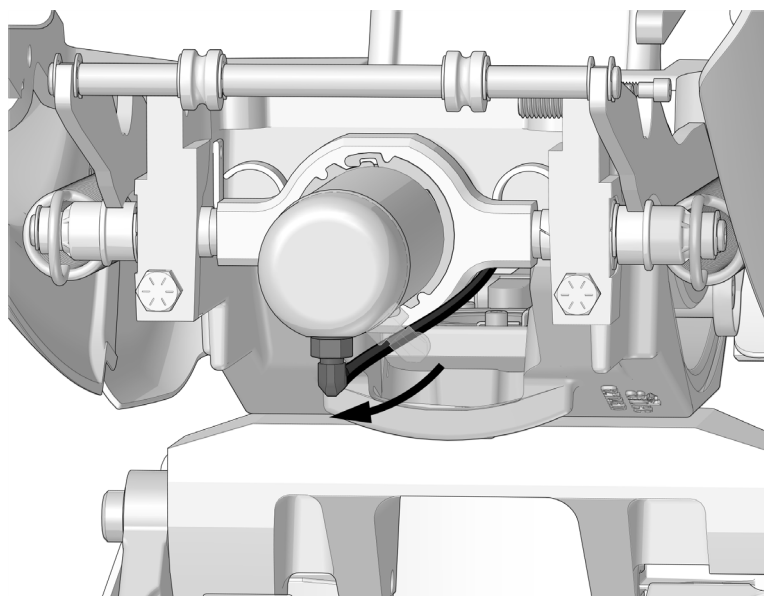
手順 3.

- 1** 7/16-14 x 1-1/2 インチの 2 本のボルトを、ネジ頭が上部構造から約 25 mm (1 インチ) の位置に来るまでアダプターにねじ込みます。

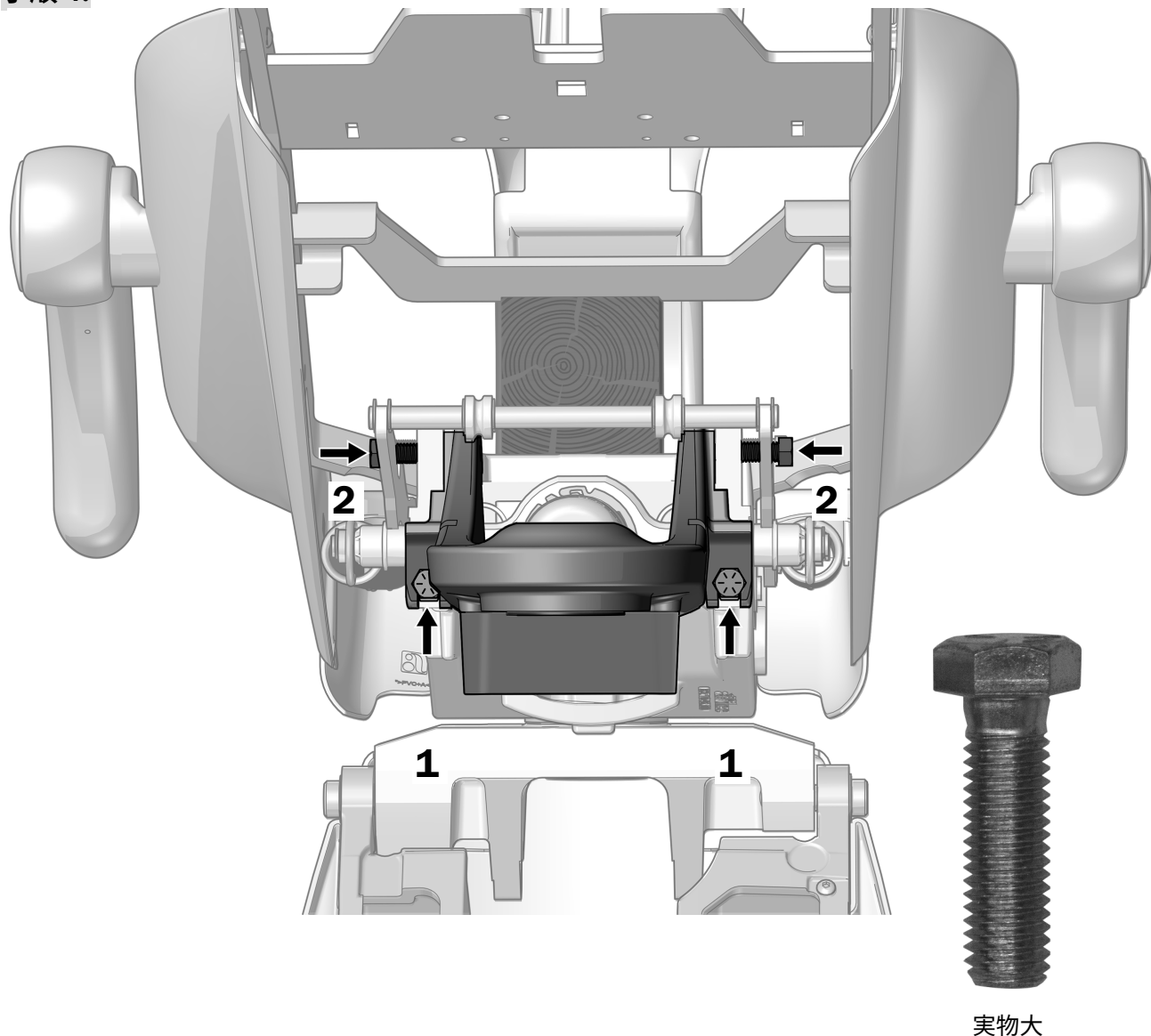


実物大

- 2** 油圧シリンダーを回転させ、油圧フィッティングが 6 時の位置に来るようにします。



手順 4.

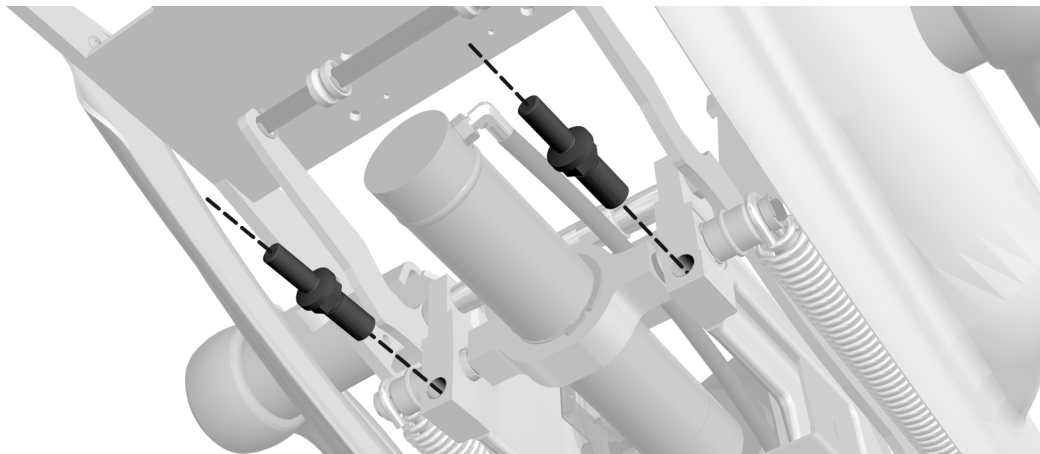


- 1** 正面取付部アセンブリを、上部構造正面の 2 本のボルトにセットします。
- 2** 正面取付部の上部にある穴と上部構造の穴の位置を合わせ、3/4 インチのソケットとラチェットを使用して、これらの穴に 1/2-13 x 1-3/4 インチの 2 本のボルトを取り付けます。
- 3** トルクレンチ（5/8 インチのオープンエンドアダプター付き）を使用して、上部の 2 本のボルトを 68 Nm（50 フィートポンド）でしっかりと締め付けます。
- 4** トルクレンチ（3/4 インチのオープンエンドアダプター付き）を使用して、下部の 2 本のボルトを 68 Nm（50 フィートポンド）でしっかりと締め付けます。
- 5** 油圧シリンダーを元の位置に戻します。

2011年4月よりも後に製造されたA-dec 511A歯科用椅子への正面取付部の取り付け

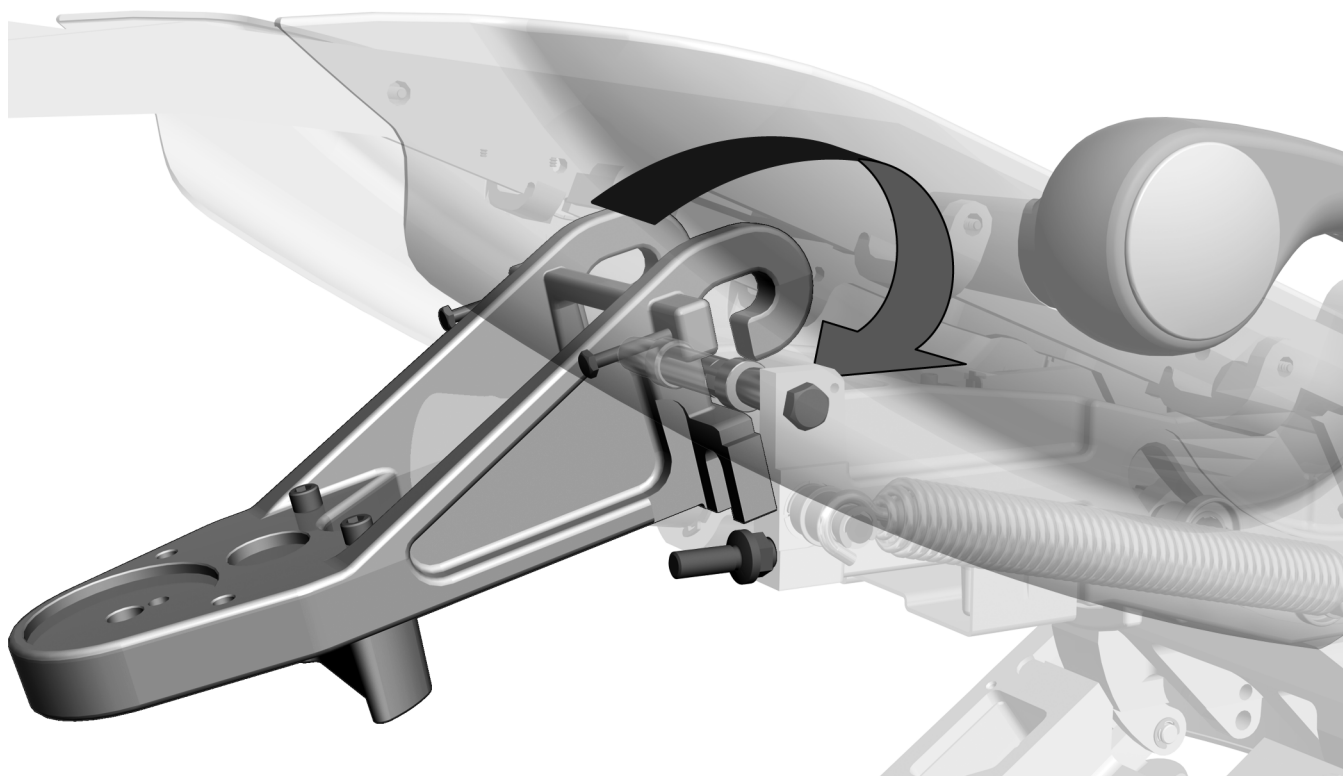
手順 1.

- 1 キットに付属のレベリングボルトをチェアフレームに差し込み、2つのネジ山が外に出た状態にします。

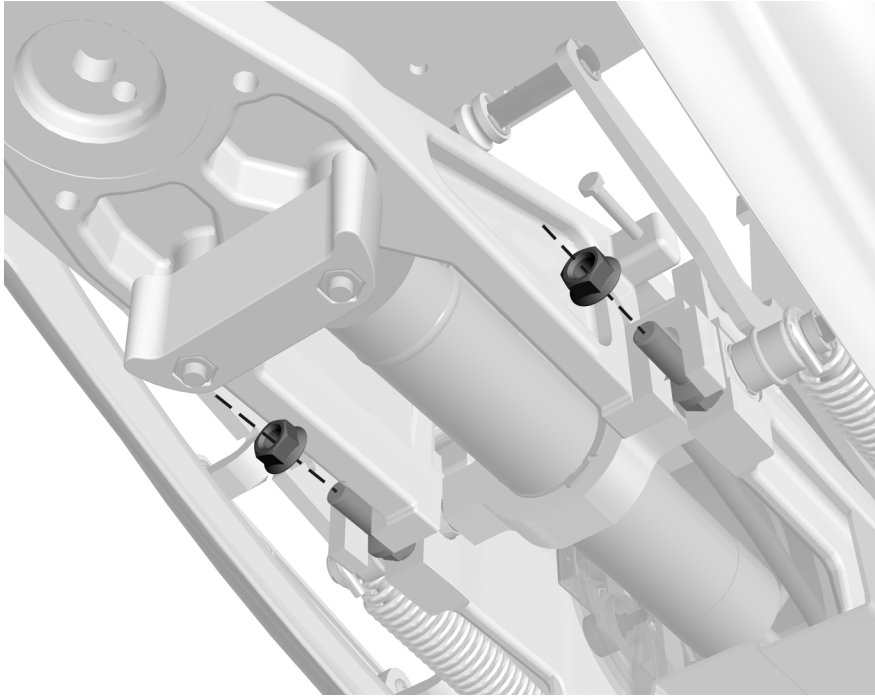


手順 2.

- 1 正面取付部をレベリングカムに掛けます。



手順 3.



- 1** レベリングボルトのナットを取り付け、手できつく締めます。

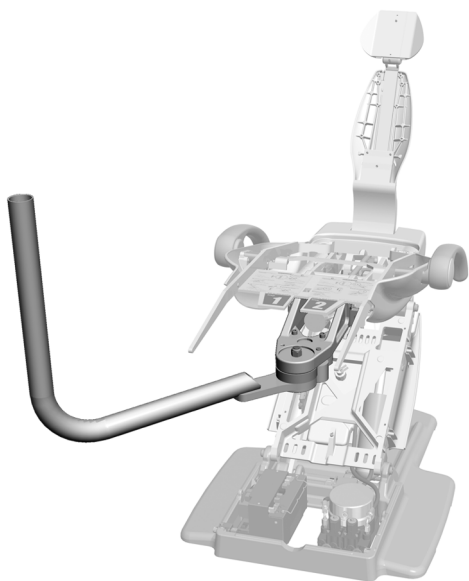


注 これらのナットは、後で固定アームの水平調整を行う際に完全に締め付けます。

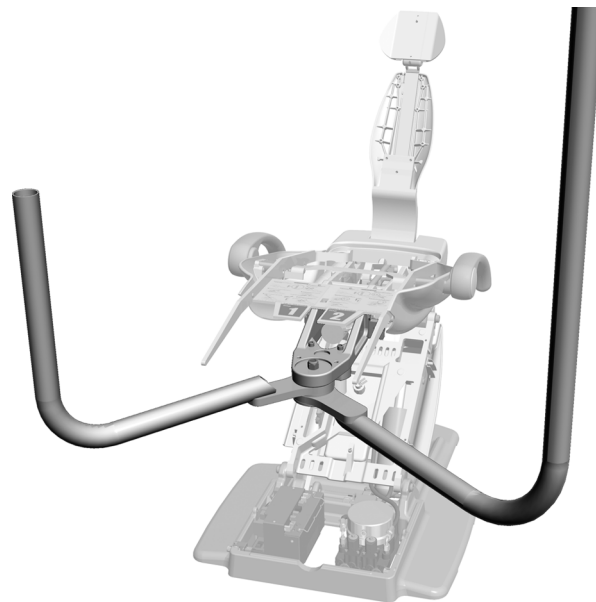
固定アームの取り付け

固定アームの取り付け手順は、すべての A-dec 511A 歯科用椅子において共通です。
システムの構成に適した手順を実行してください。

デリバリーシステム固定アームのみの取り付け	13
デュアル固定アームの取り付け	15



デリバリーシステム固定アームのみ



デュアル固定アーム

デリバリーシステム固定アームのみの取り付け

正面取付部にデリバリーシステムのみを設置する場合は、以下の手順に従います。

推奨する工具

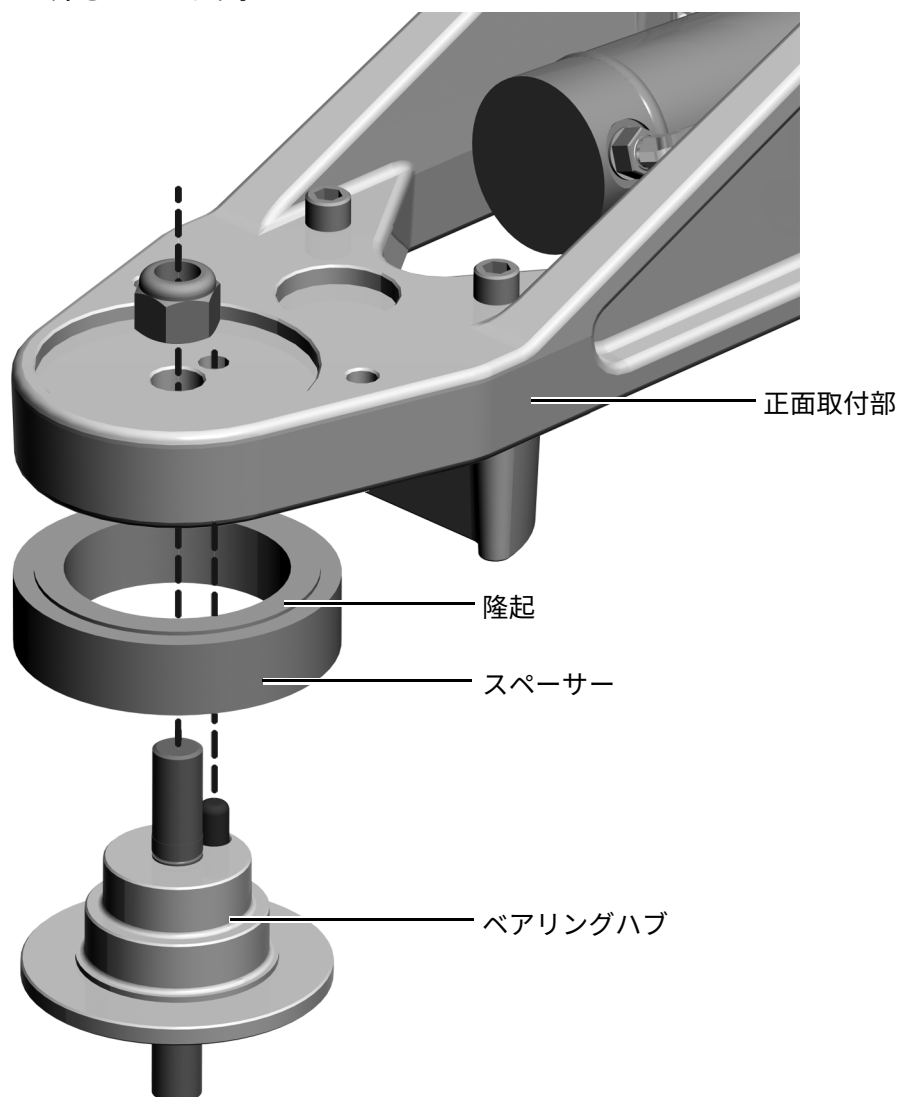
- 15/16 インチのソケットとラチェット

手順 1.



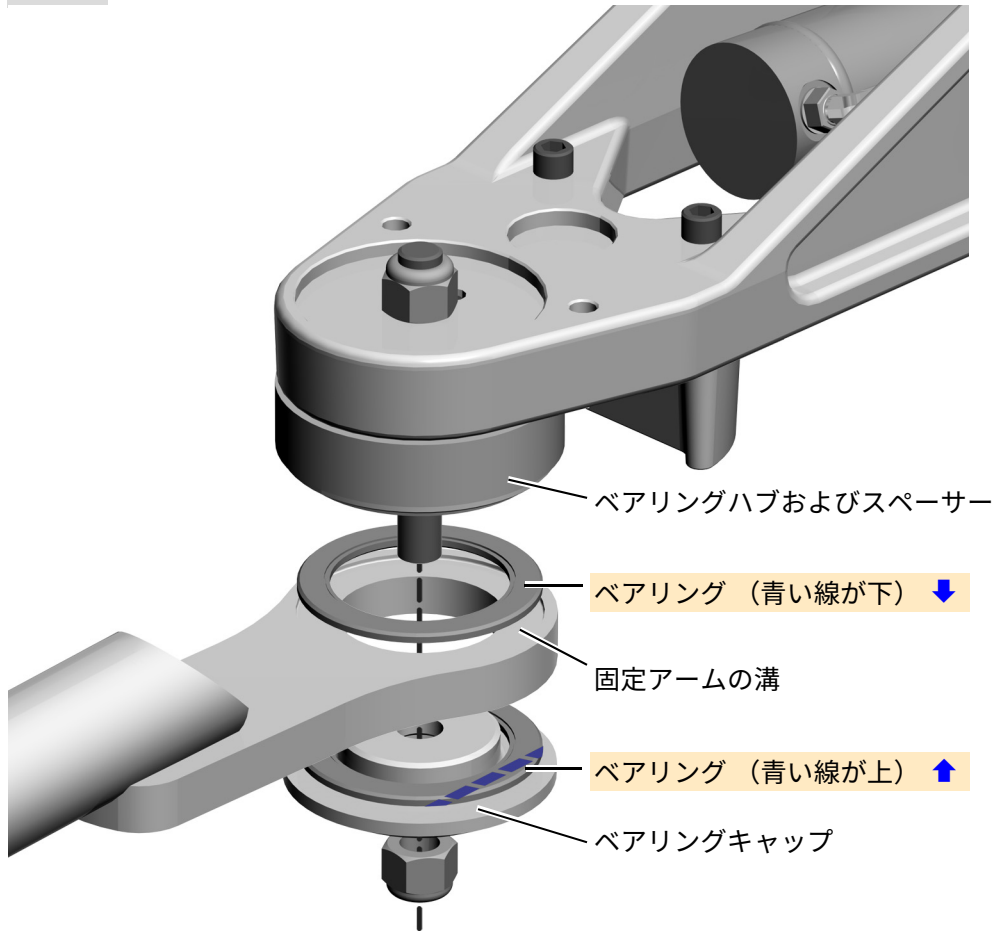
注 ベアリングハブは単独で梱包され、デリバリーシステムとともに配送されます。

- 1 ベアリングハブとスペーサーを正面取付部にしっかりと取り付けます。スペーサーは隆起している方を上にします。



2011年4月よりも後に製造された A-dec 511A 歯科用椅子の図

手順 2.



ベアリングの青い線

- 1** ベアリングハブに、ベアリング、固定アーム、およびベアリングキャップを取り付けます。



注意 アームが適切に回転するよう、ベアリングは、青い線を正しい方向に向けてアームの溝にしっかりと嵌め込む必要があります。締め付け時にベアリングが所定の位置から外れないように、注意して作業してください。

- 2** ジョイントが下がらないようにナットをしっかりと締めます。

- 3** システムにサポートセンターを取り付ける場合は、511 回転停止装置を取り付けます。回転停止装置と説明書はサポートセンターに同梱されています。



511 回転停止装置

次のステップ システム構成に合った手順を参照してください。

- 2011年4月およびそれ以前に製造されたチェアについては、23ページの「デリバリーシステムの取り付け」を参照
- 2011年4月よりも後に製造されたチェアについては、19ページの「固定アームの水平調整（2011年4月およびそれ以前に製造されたチェアのみ）」を参照

デュアル固定アームの取り付け

正面取付部にデリバリーシステムと歯科ライトまたはモニターマウントを設置する場合は、以下の手順に従います。

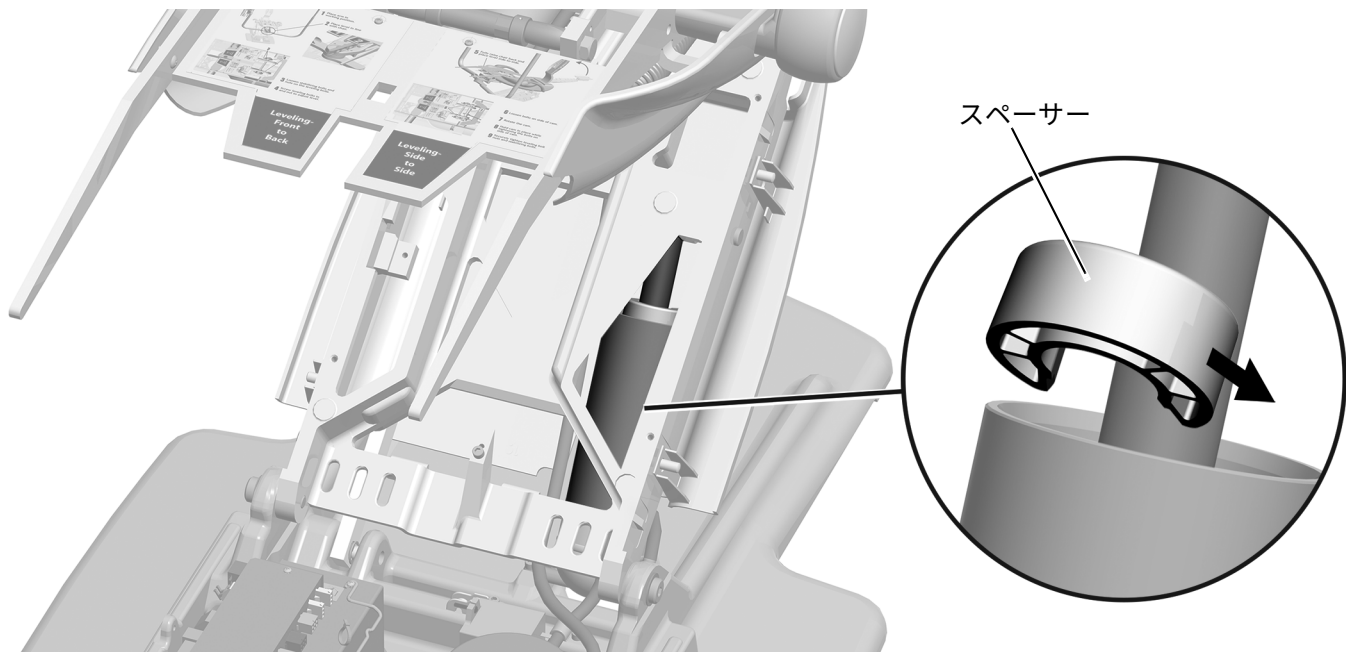
推奨する工具

- ・ 15/16 インチのソケットとラチェット
- ・ プラスドライバー

スペーサーとトウボード傾斜台の取り付け

手順 1.

- 1 チェアのベースを限界まで上げます。

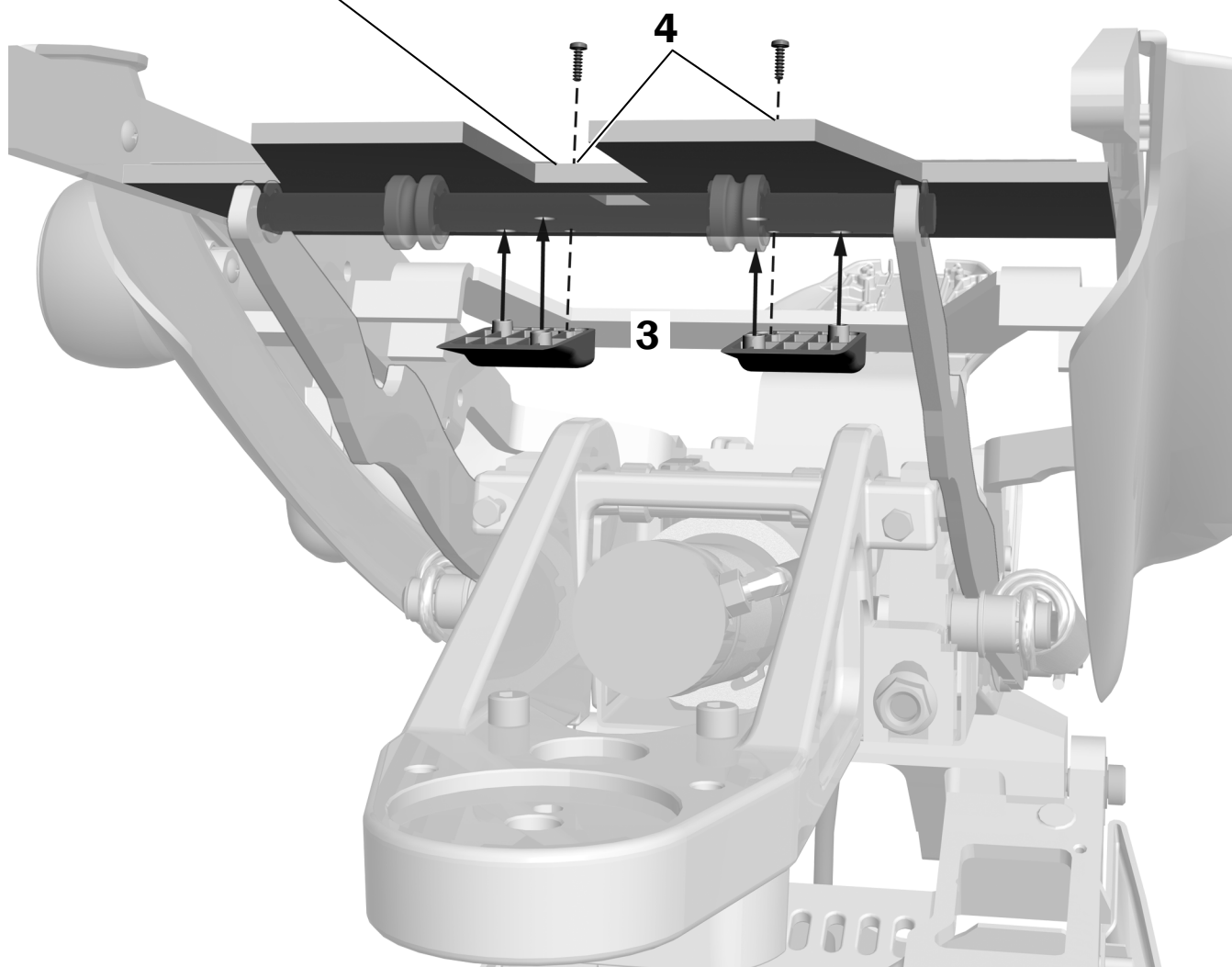
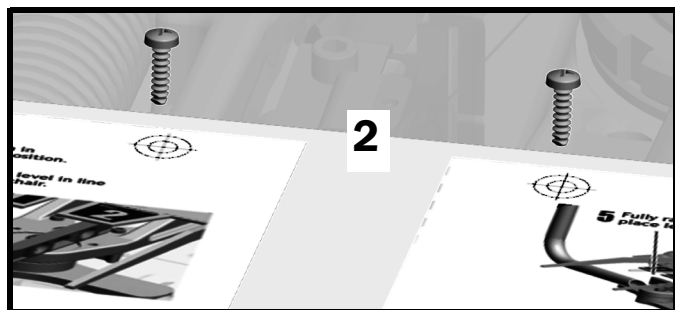


注意 チェアを下げたときに固定アームによってカバーが損傷しないように、スペーサーは正しく取り付ける必要があります。

- 2 スペーサーを配置します。スペーサーは閉じた側を上、開いている側を低圧チューブの方に向けます。スペーサーはライトおよびモニターマウントに同梱されています。

手順 2.

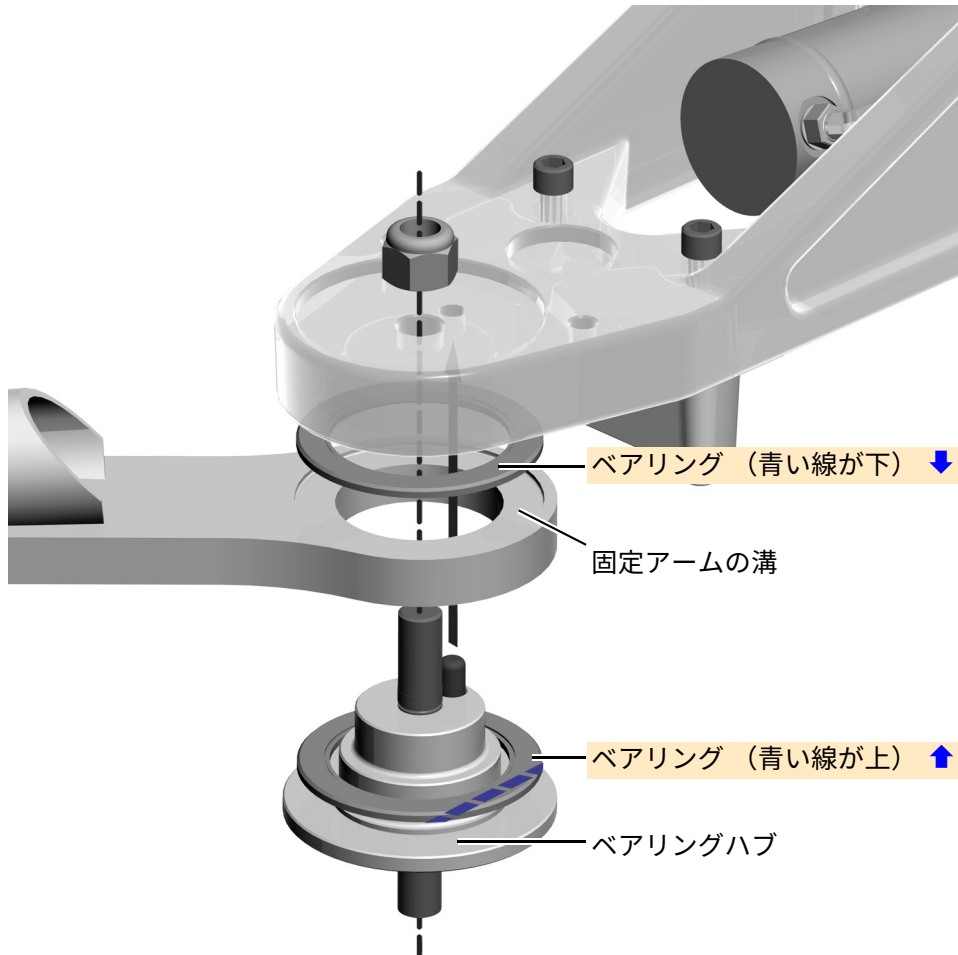
1. チェアの背板を限界まで下げます。
2. シールの上部にある 2つの十字の的にネジを突き通します。
3. 傾斜台の支柱を大きい方の穴に差し込んで、傾斜台がカム台と同一平面上に収まるようにします。傾斜台はライトおよびモニターマウントに同梱されています。
4. 各傾斜台をネジで固定します。



固定アームの取り付け

手順 1.

- 1 正面取付部に、デリバリーシステムの固定アーム、ベアリング、ベアリングハブをしっかりと取り付けます。



2011 年 4 月よりも後に製造された A-dec 511A 歯科用椅子の図



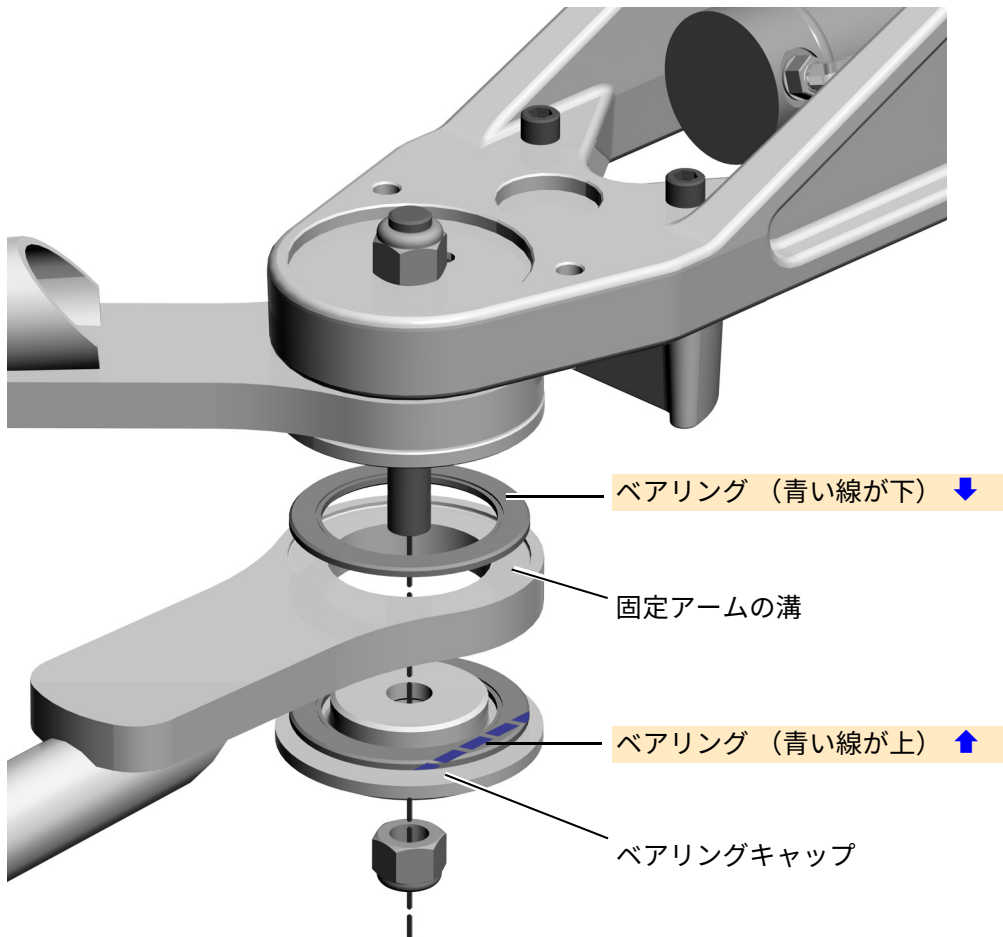
注意 アームが適切に回転するよう、ベアリングは、青い線を正しい方向に向けてアームの溝にしっかりと嵌め込む必要があります。締め付け時にベアリングが所定の位置から外れないように、注意して作業してください。

- 2 ジョイントが下がらないようにナットをしっかりと締めます。



手順 2.

- 1** ベアリングハブに、歯科ライト / モニターマウント固定アーム、ベアリング、およびベアリングキャップを取り付けます。



- 2** ジョイントが下がらないようにナットをしっかりと締めます。
- 3** システムにサポートセンターを取り付ける場合は、511 回転停止装置を取り付けます。回転停止装置と説明書はサポートセンターに同梱されています。

次のステップ システム構成に合った手順を参照してください。

- 2011 年 4 月およびそれ以前に製造されたチェアについては、23 ページの「デリバリーシステムの取り付け」を参照
- 2011 年 4 月よりも後に製造されたチェアについては、19 ページの「固定アームの水平調整 (2011 年 4 月およびそれ以前に製造されたチェアのみ)」を参照



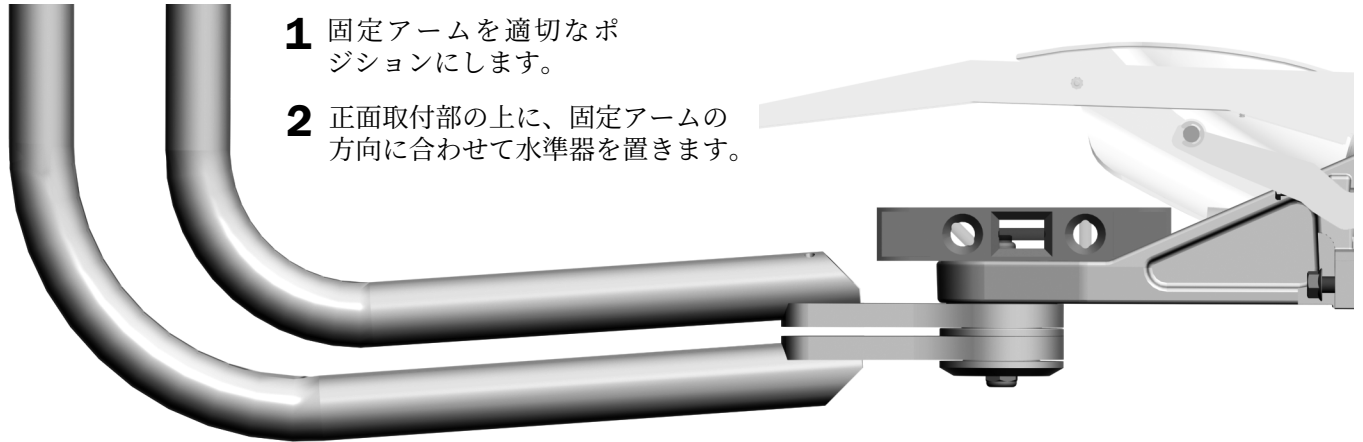
511 回転停止装置

固定アームの水平調整 (2011年4月およびそれ以前に製造されたチェアのみ)

推奨する工具

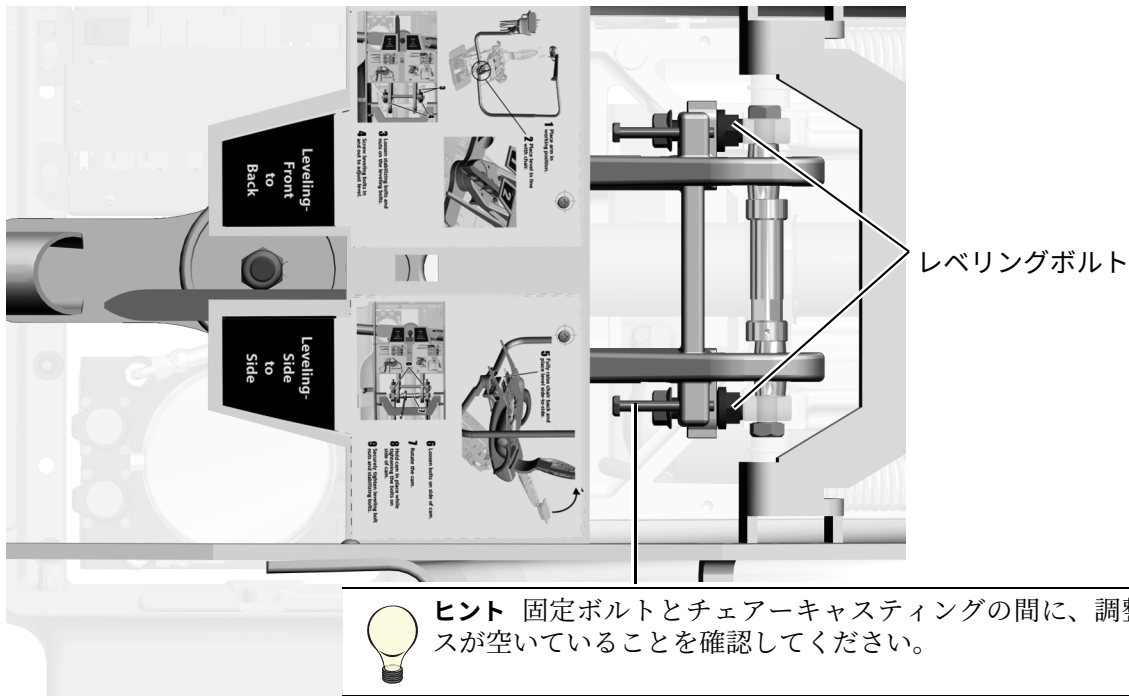
- 水準器
- 5/8 インチ、3/4 インチ、15/16 インチのコンビネーション・レンチ
- 7/16 インチのナットドライバー
- 15/16 インチのソケットとラチェット

手順 1.



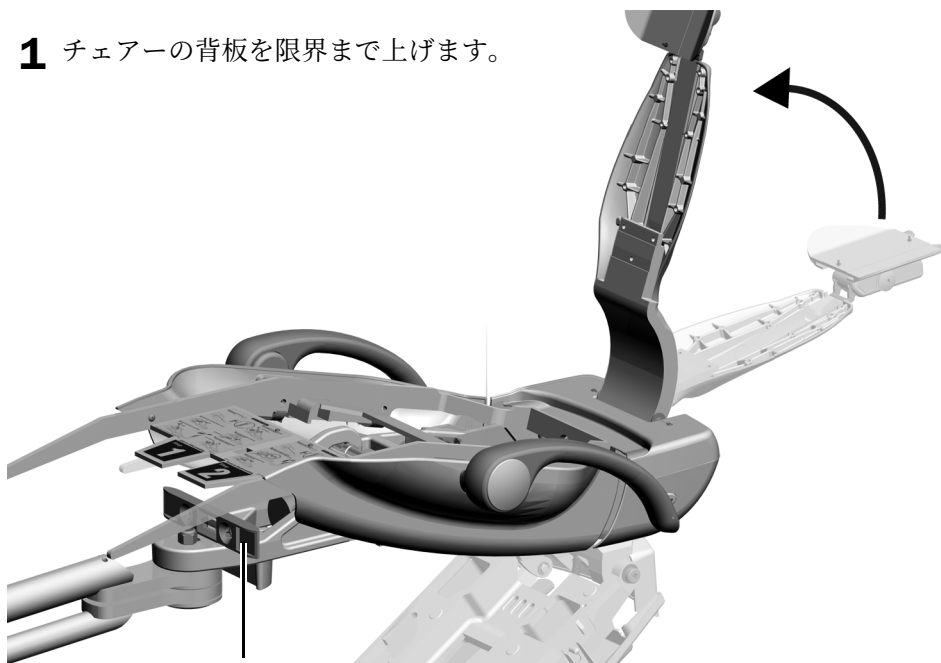
手順 2.

- 1** 固定アームの前後を水平に調整するには、レベリングボルトをいずれかの方向に回します。



手順 3.

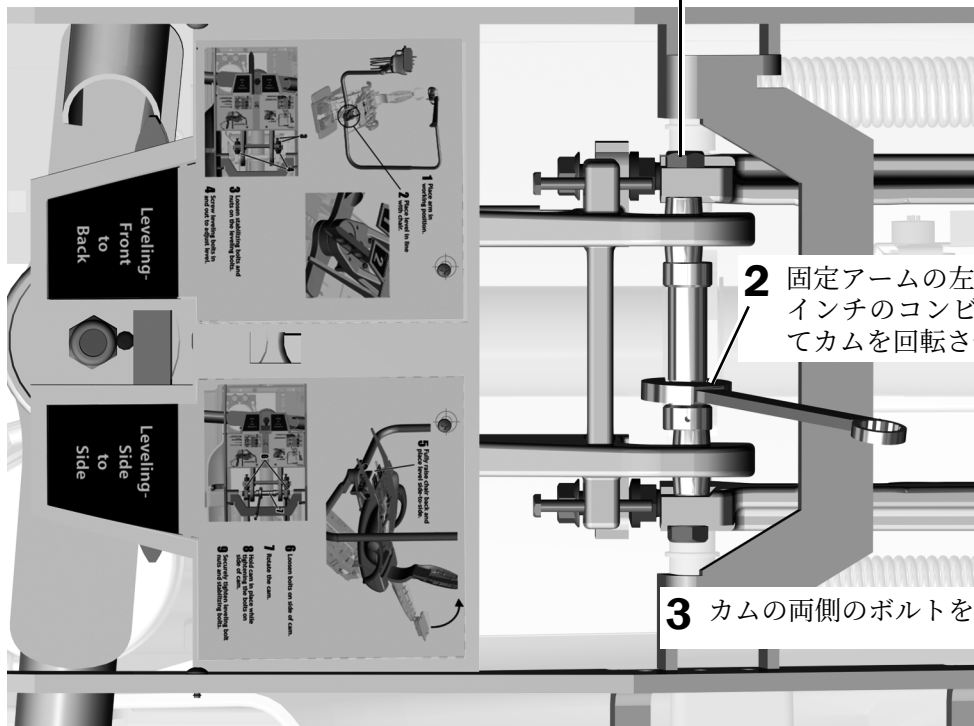
1 チェアの背板を限界まで上げます。



2 水準器をマウント上に横向きに置きます。

手順 4.

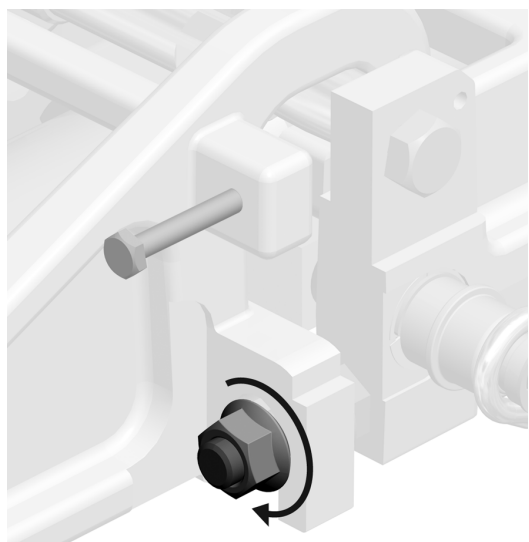
1 カムの両側のボルトを緩めます。



2 固定アームの左右を水平に調整するには、3/4インチのコンビネーション・レンチを使用してカムを回転させます。

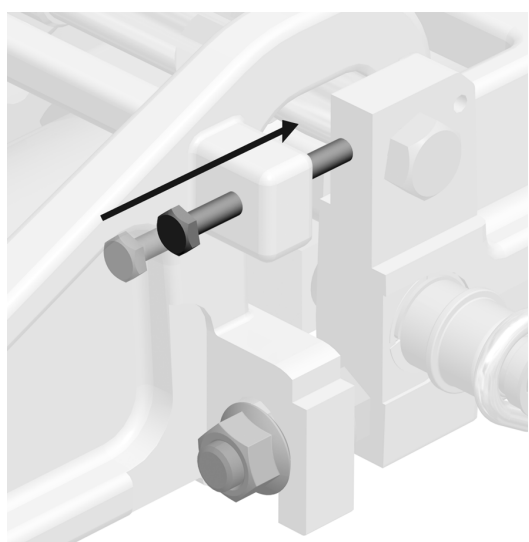
3 カムの両側のボルトを締めます。

手順 5.



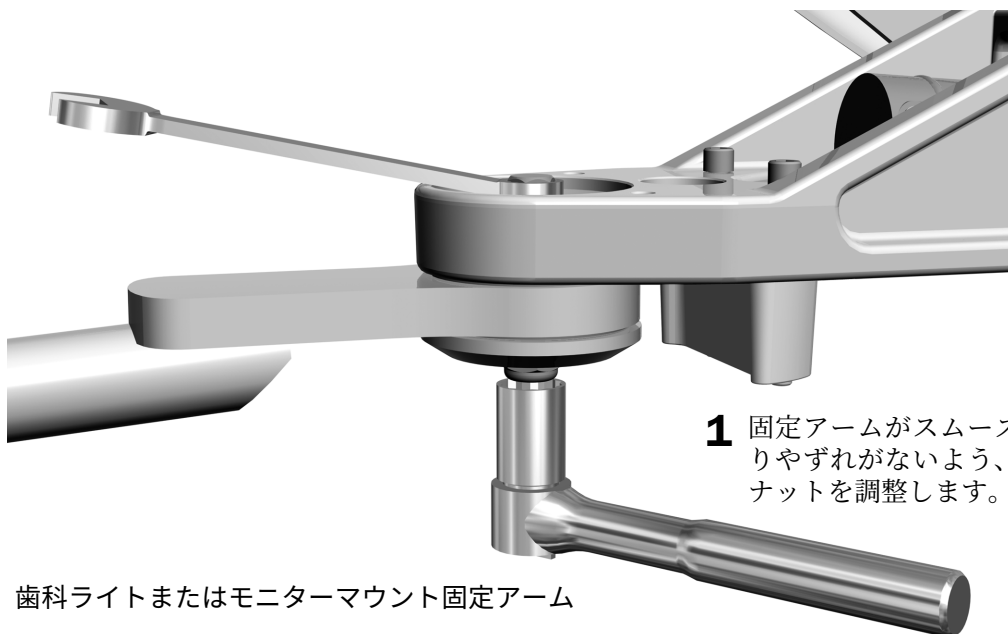
- 1** 正面取付部の両側にあるレベリングボルトのナットを締めます。

手順 6.



- 1** 正面取付部の両側の固定ボルトを、チェアキャストィングに触れるまで締めます。

手順 7.



- 1** 固定アームがスムーズに動き、かつ意図しない滑りやずれがないよう、固定アームのジョイントのナットを調整します。

歯科ライトまたはモニターマウント固定アーム

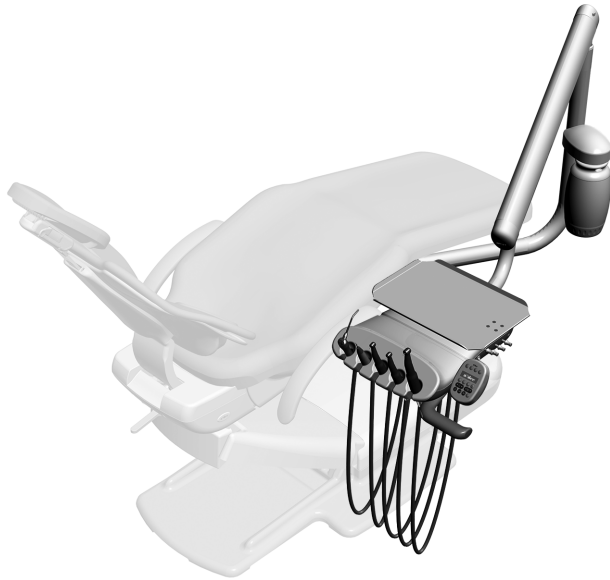
システム構成に応じて以下の手順に従い、設置を行います。

- 23 ページの 「デリバリーシステムの取り付け」
- 35 ページの 「ワイヤーとデータ回線の接続」
- 『A-dec 311、411、または 511 歯科用椅子への A-dec 382 モニターマウント取り付けサービスガイド』（部品番号 (P/N) 86.0413.05)

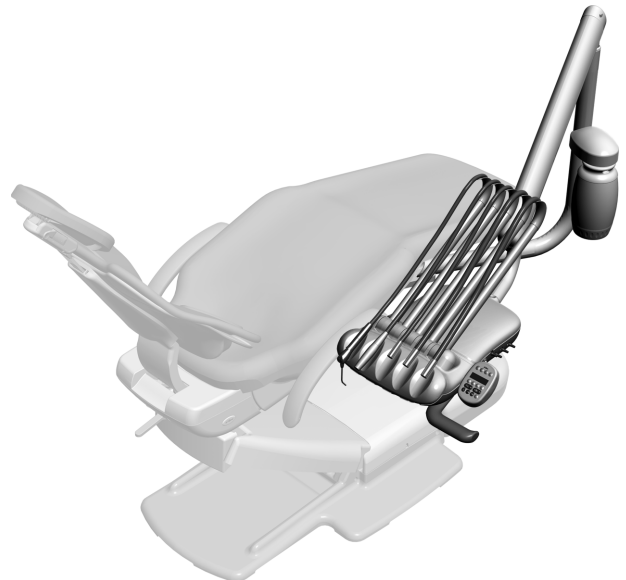
デリバリーシステムの取り付け

以下の手順を実行する前に、デリバリーシステムの固定アームを取り付ける必要があります。固定アームを取り付けていない場合は、以下のいずれかを参照してください。

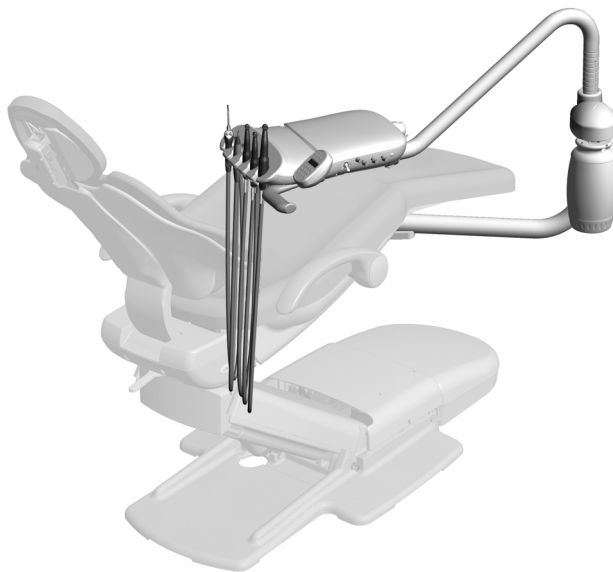
- 13 ページの「デリバリーシステム固定アームのみの取り付け」
- 15 ページの「デュアル固定アームの取り付け」



A-dec 511 歯科用椅子に取り付けられた A-dec 332 Traditional デリバリーシステム



A-dec 511 歯科用椅子に取り付けられた A-dec 333 Continental® デリバリーシステム



A-dec 511 歯科用椅子に取り付けられた A-dec 336 標準デリバリーシステム (手動高さ調整機能付き)

デリバリーシステム固定アームへのウォーターボトルマウントの取り付け (A-dec 332/333のみ)



確認 A-dec 336 デリバリーシステムの場合は、工場ですでにウォーターボトルマウントが取り付けられています。28 ページの「A-dec 336 デリバリーシステムの取り付け」に進んでください。



確認 リモートウォーターボトルまたはウォーターボトル付きサポートセンターを取り付ける場合は、この手順は実行しないでください。キットのプラグをデリバリーシステムの固定アームの穴に挿入します。

推奨する工具

- 5/16 インチのコンビネーション・レンチ

手順 1.



- 1** 5/16 インチのコンビネーション・レンチを使用して、取り付けネジ、ワッシャー、およびプレートを固定アームから取り外します。

手順 2.



- 1** ウォーターボトルのチューブをプレートに通して固定アームの穴に挿入し、アームの底部から出します。



ヒント 支柱を保護するため、ウォーターボトルマウントは気泡シートに入れたままにします。

手順 3.



- 1 プレートを取り付け直します。ウォーターボトルマウントを取り付けられるよう、ネジが十分外に突き出した状態にしておきます。

手順 4.



- 1 ネジにかぶせるようにウォーターボトルマウントを取り付け、アームに固定します。

A-dec 332または333デリバリーシステムの取り付け

推奨する工具

- 3/8 インチおよび 5/32 インチの六角レンチ



確認 A-dec 336 デリバリーシステムを取り付ける場合は、この手順は実行しないでください。28 ページの「A-dec 336 デリバリーシステムの取り付け」を参照してください。

手順 1.



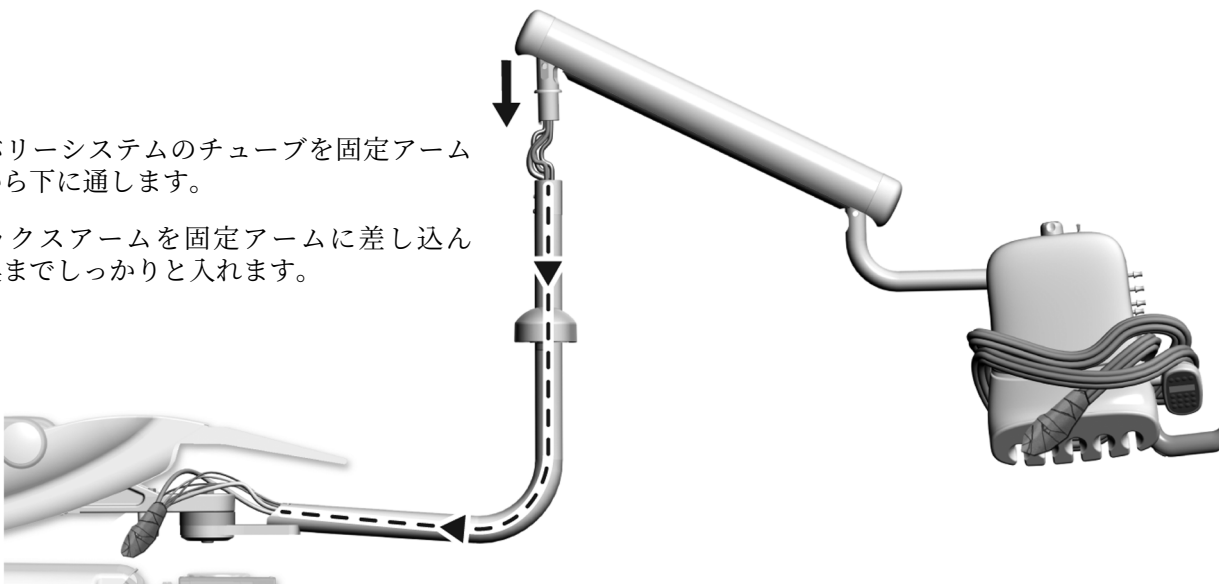
- 1 チェアーのベースを限界まで下げます。
- 2 デリバリーシステムを取り出して肩の上に載せ、空いた方の手で配管を行います。



ヒント Traditional デリバリーシステムを持ち上げる前に、デリバリーシステムのハンドピース管をコントロールヘッドに巻き付けると扱いやすくなります。

手順 2.

- 1 デリバリーシステムのチューブを固定アームの上から下に通します。
- 2 フレックスアームを固定アームに差し込んで、奥までしっかりと入れます。



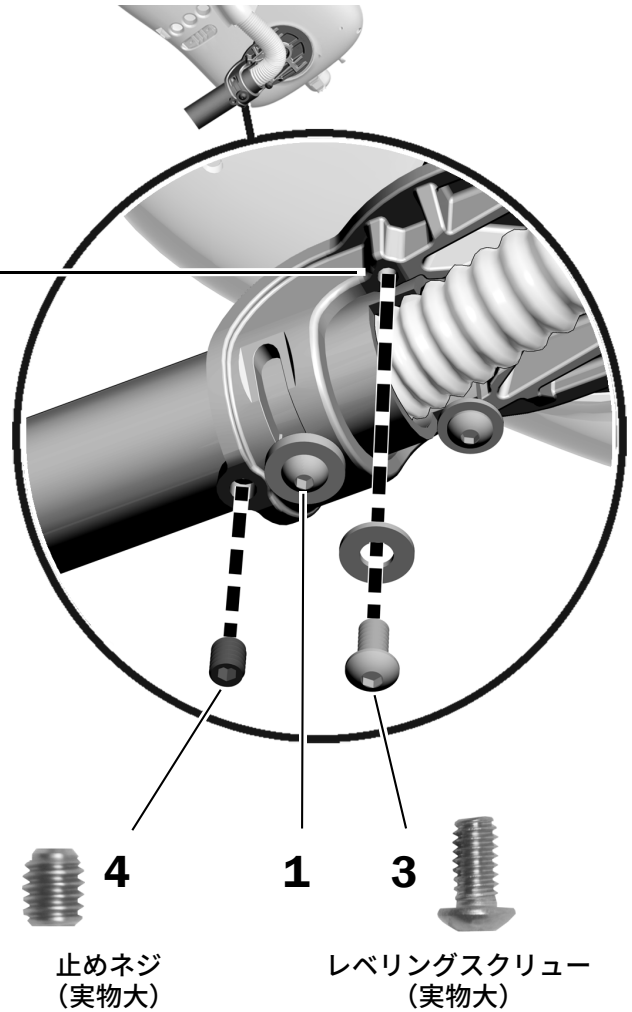
手順 3.

1. ボタンボルトを緩めます。



注 ボタンボルトを完全には引き出さないでください。コントロールヘッドを動かせる程度に緩めれば十分です。

2. コントロールヘッドを回転させ、レベリングスクリーユ用の穴の位置に合わせます。
3. 1/4-20 x 1/2 インチのレベリングスクリーユとワッシャーを取り付けて締めます。
4. 3/8 インチ止めネジを取り付けます。
5. ボタンボルトを締めます。

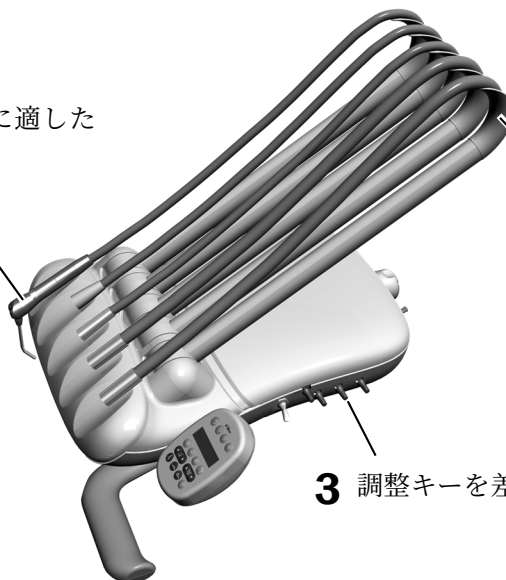


手順 4.

- 1 ハンドピース管を、使用に適した位置に設置します。

- 2 Continentalデリバリーシステムの場合は、ホイップフックを差し込みます。

- 3 調整キーを差し込みます。



A-dec 336 デリバリーシステムの取り付け

推奨する工具

- 3/32 インチの六角レンチ



注 問題が発生しないよう、この手順をすべて読んでからデリバリーシステムの取り付けに取りかかってください。

手順 1.

- 1** スペースに余裕があれば、デリバリーシステムが梱包されているボックスをチェアの横に置きます。チェアの横にボックスを置けない場合は手順 2 に進みます。
- 2** 可能な限りの量のチューブを固定アームに通します。

手順 2.



- 1** デリバリーシステムを取り出して肩の上に乗せ、空いた方の手で配管を行います。

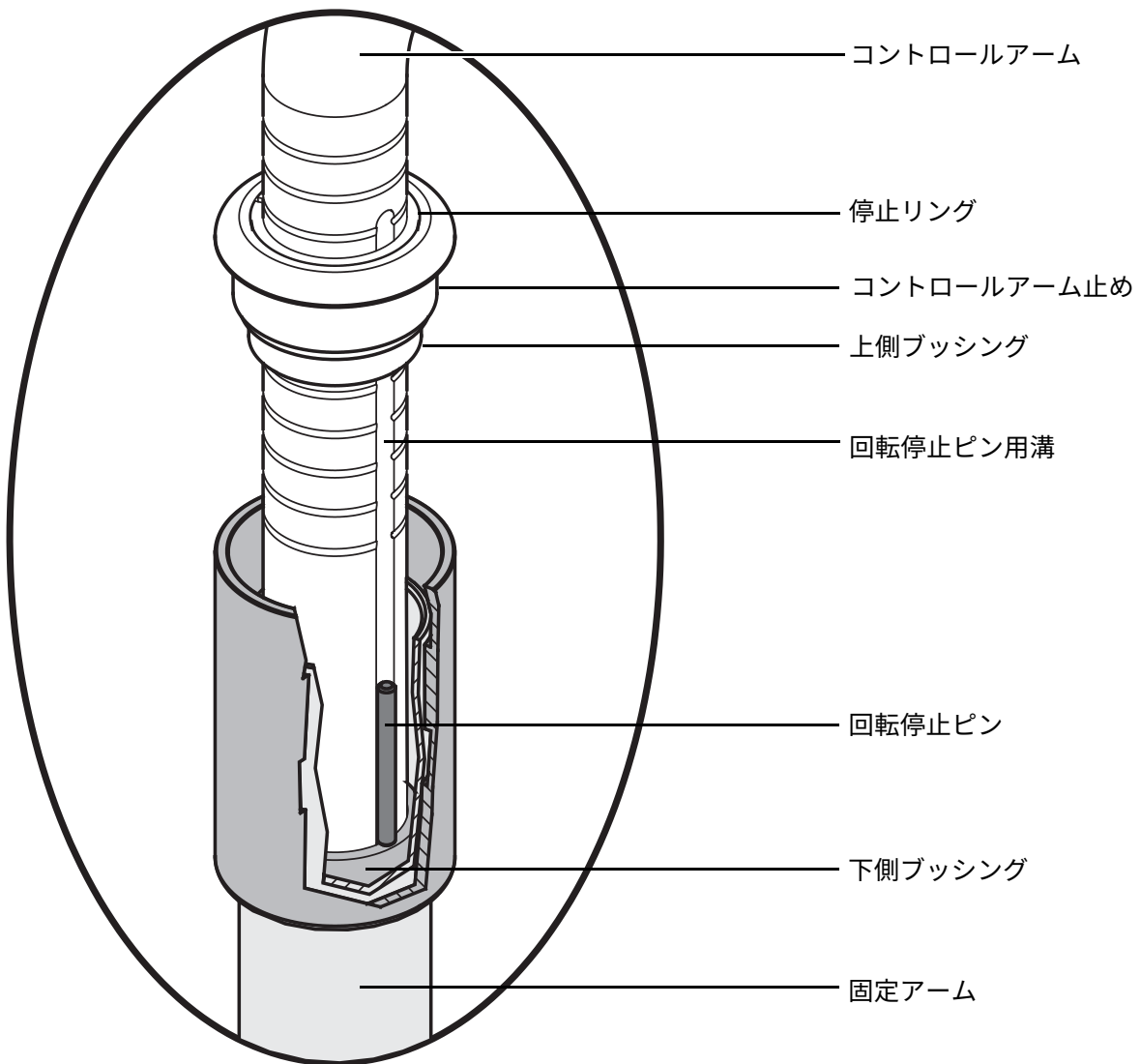


ヒント デリバリーシステムを持ち上げる前に、デリバリーシステムのハンドピース管をコントロールヘッドに巻き付けると扱いやすくなります。

手順 3.

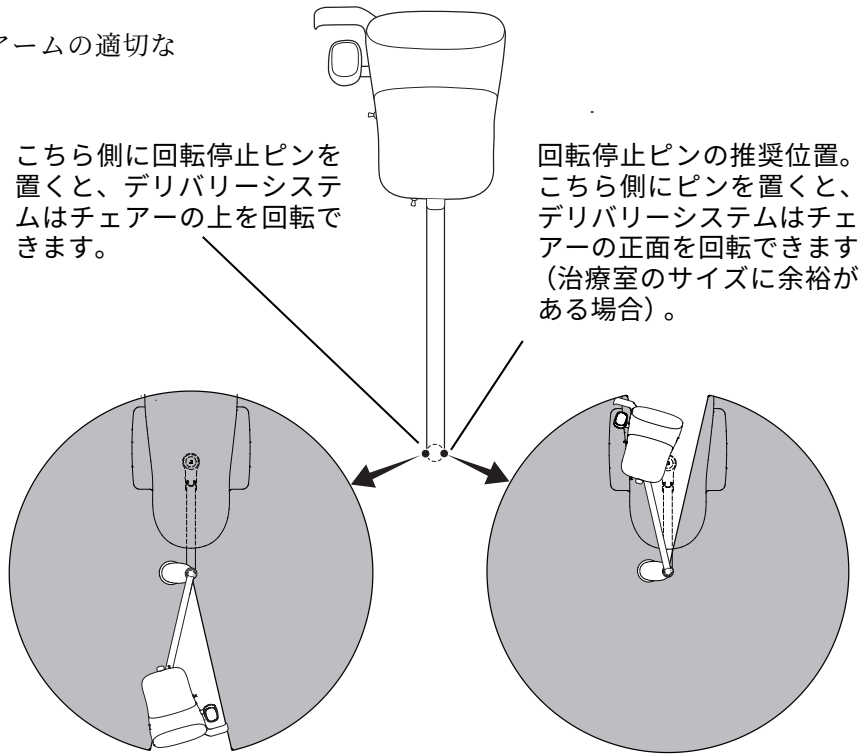
- 1 回転停止ピン（コントロールアームにテープで貼られている）をコントロールアームから外します。
- 2 デリバリーシステムのチューブを固定アームに通します。
- 3 コントロールアームの端が下側ブッシング上部を通過するまで、コントロールアームを慎重に固定アーム内へと下降させます。

! 注 コントロールアームの端が下側ブッシングを通過して挿入されていない場合は、回転停止ピンが固定アーム内に落下する恐れがあります。回転停止ピンは、デリバリーシステムが連続的に回転してチューブがねじれるのを防止します。



手順 4.

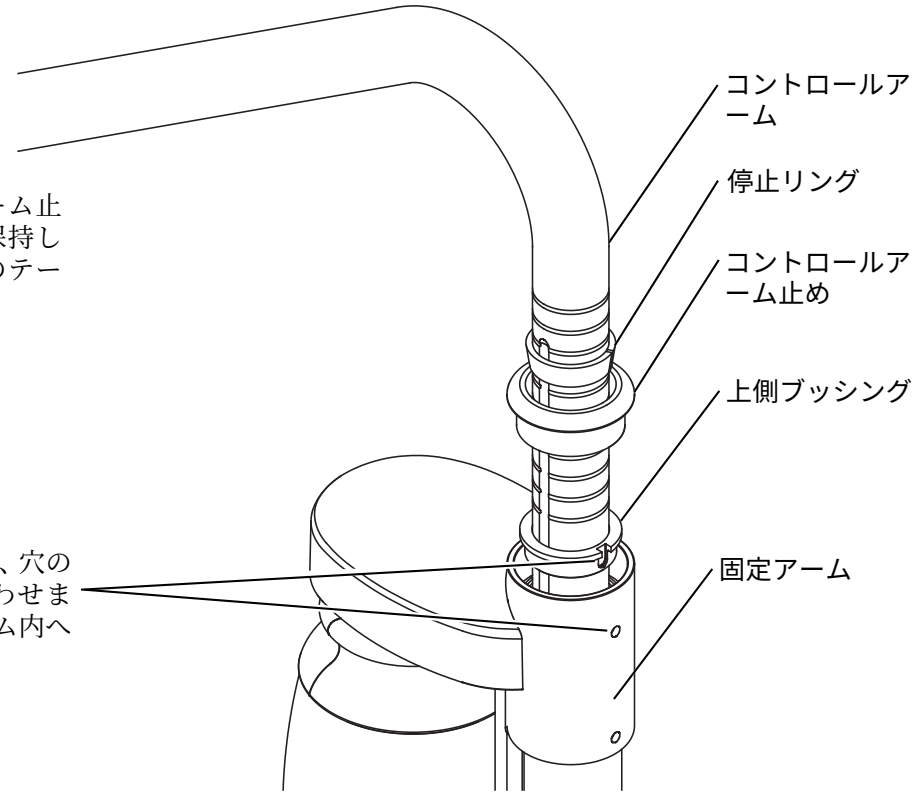
- 1** 回転停止ピンをコントロールアームの適切な溝に嵌め、ピンを落とします。



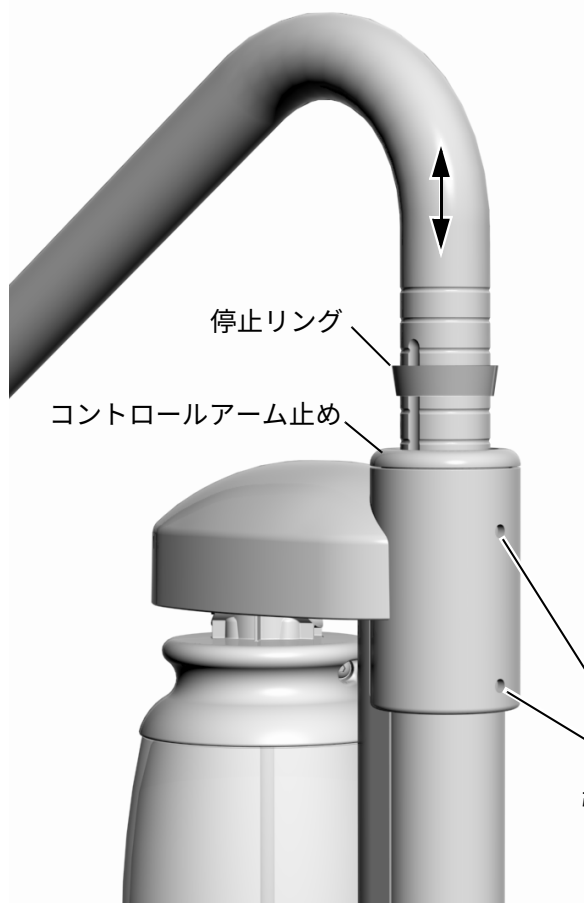
手順 5.

- 1** 停止リング、コントロールアーム止め、上側ブッシングを一緒に保持しながら、コントロールアームのテープを取り除きます。

- 2** 上側ブッシングを慎重に動かし、穴の位置を張力調整止めネジに合わせます。上側ブッシングを固定アーム内へと下降させます。



手順 6.



- 1 上部張力調整止めネジを締めます。
- 2 コントロールアーム止めを固定アーム内へと下降させます。
- 3 停止リングをコントロールアームに沿って一番低い位置に移動し、デリバリーシステムの高さを最大に設定します。

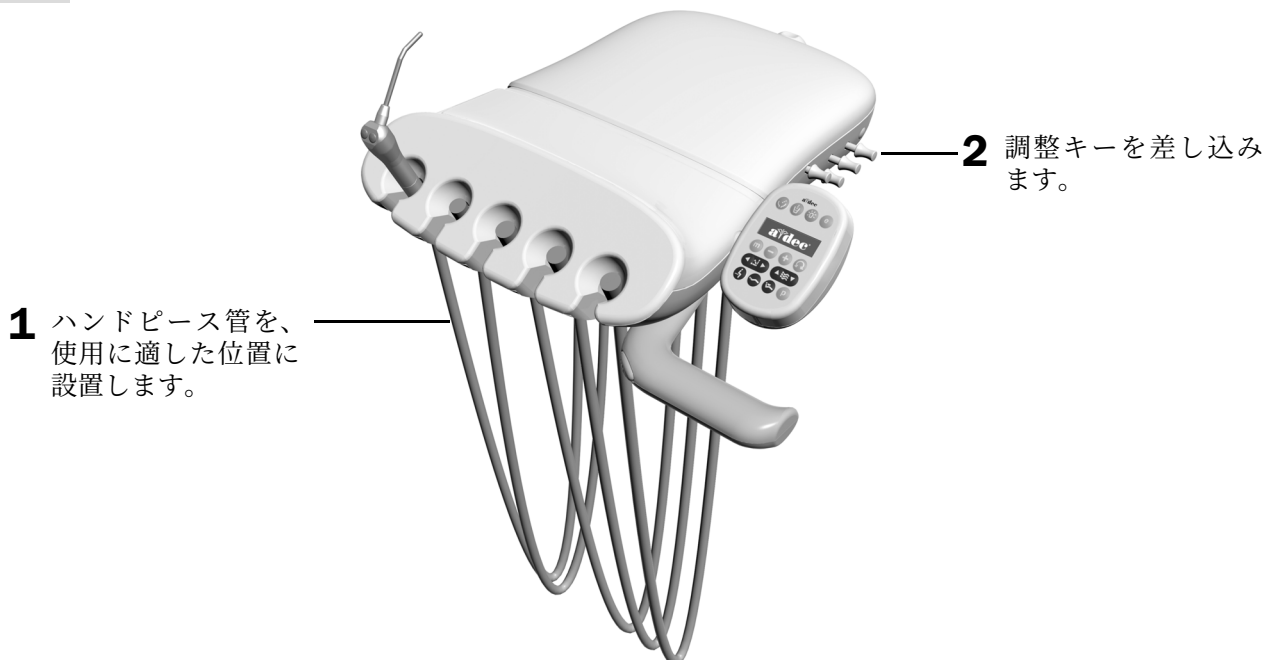


注 チューブを切断する前に、コントロールアームを最大の高さに設定することにより、コントロールヘッドが全可動域で動くのに十分な量のチューブを残すことができます。

- 4 停止リングがコントロールアーム止めの上部に嵌まるまで、コントロールアームを下げます。
- 5 3/32 インチの六角レンチを使用して、上下の各張力調整止めネジを締めます。
- 6 意図しない滑りやずれがないか確認し、必要に応じて止めネジを締めます。

張力調整止めネジ

手順 7.

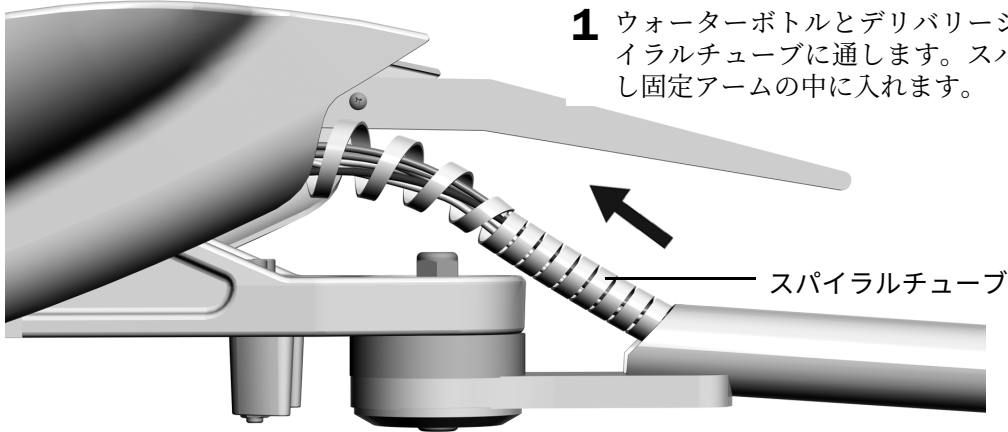


配管と配線

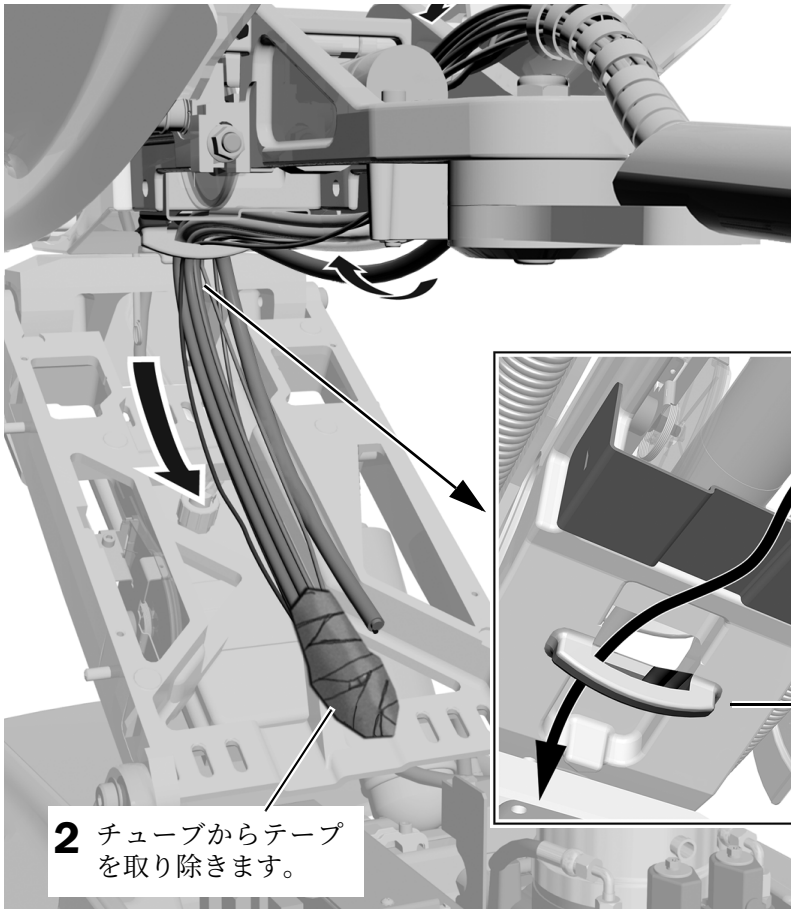
手順 1.



注 適切な可動域を確保し、アンビリカルがフレックスアームのカバーに干渉しないようにするため、アンビリカルを固定アームに通す際はある程度の余裕を持たせてください。



手順 2.



注意 損傷を防ぐため、チューブとケーブルはすべてシールドの下を通してください。

1 チューブとワイヤーをシールドの下からループに通します。

シールド

ループ

トレイ・ホルダー（オプション）の取り付け

システムに取り付けるコントロールヘッドの種類に応じて、適切な手順を実行します。

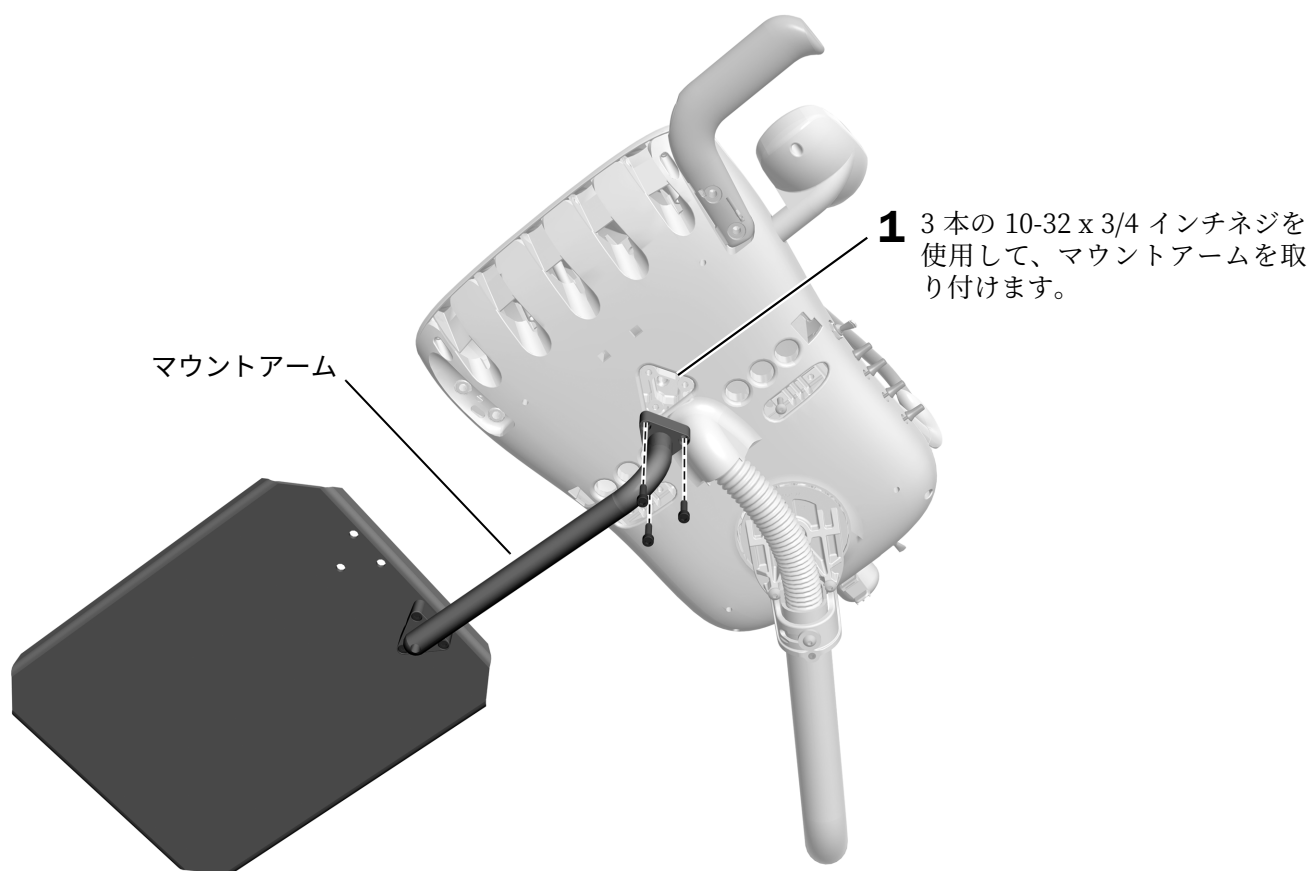
Continental デリバリーシステムこのページ

Traditional デリバリーシステム34 ページ

Continental デリバリーシステム

推奨する工具

- 5/32 インチの六角レンチ



Traditional デリバリーシステム

推奨する工具

- 1/8 インチの六角レンチ



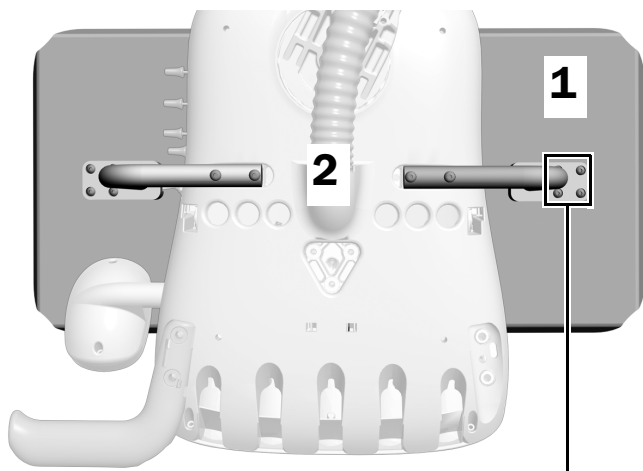
ヒント コントロールヘッドの調整キーがある側とは反対側にトレイ・ホルダーを取り付けると、調整キーが操作しやすくなります。



注意 ネジを締めすぎないようにしてください。締めすぎると、トレイの表面が損傷したり、マウントが壊れたりする恐れがあります。

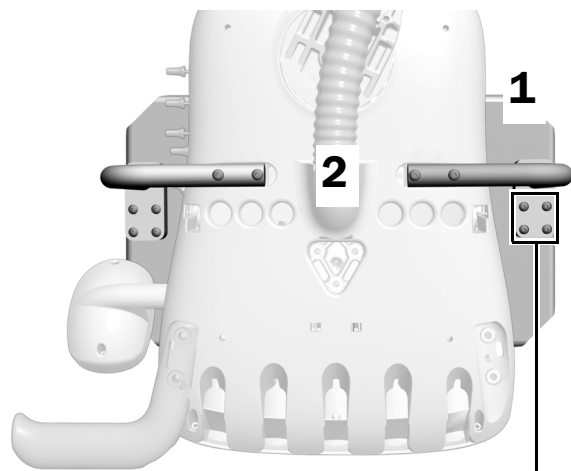
1. 10-32 x 1/2 インチネジを使用して、トレイ・ホルダーの底部にマウントアームを取り付けます。適切な位置に取り付けるため、トレイの大きさに応じた配置を下図で確認してください。
2. 2本の10-32 x 1 インチボタンボルトを使用して、コントロールヘッド底部のいずれかの側にマウントアームを取り付けます。

大型トレイ・ホルダー



4つのネジ穴がコントロールヘッドとは反対の側に来るようにします。

小型トレイ・ホルダー



4つのネジ穴がコントロールヘッドの前側に来るようにします。

ワイヤーとデータ回線の接続

推奨する工具

- プラスドライバー



注意 この手順を開始する前に電源をオフにしないと、感電する恐れがあります。

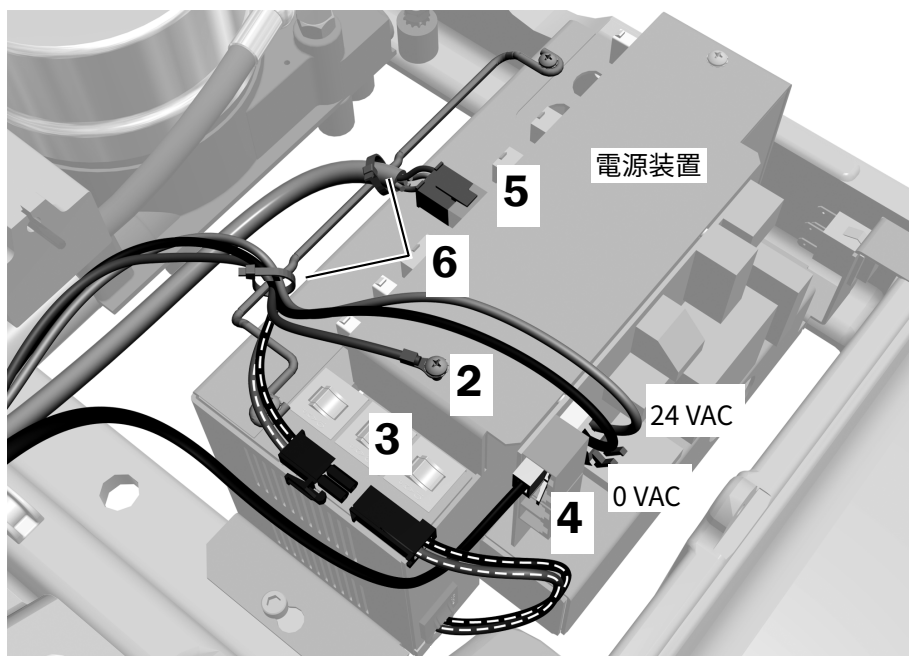


注意 この手順を開始する前に電源をオフにしないと、製品の損傷や、重傷または死亡事故につながる恐れがあります。



注記 回路基板は静電気の影響を受けやすい部品です。回路基板に触れる場合、あるいは回路基板への接続または回路基板からの接続を行う場合は、静電放電 (ESD) 対策が必要です。回路基板の取り付けは、必ず電気技師または適切な資格を持った整備担当者が行ってください。

1. チェアの電源をオフにします。
2. アース線を電源の上部に、黒のワイヤーを 0 VAC に、グレーのワイヤーをチェアの基板端子板 J2 の 24 VAC に接続します。
3. 黒の 2 ポジションコネクタを電源の黒の 2 ポジション 24 VAC 絶縁リードに接続します。
4. データケーブルを接続します。
5. 赤いコネクタを接続します。
6. ケーブル留めでワイヤーをベイルに固定します。



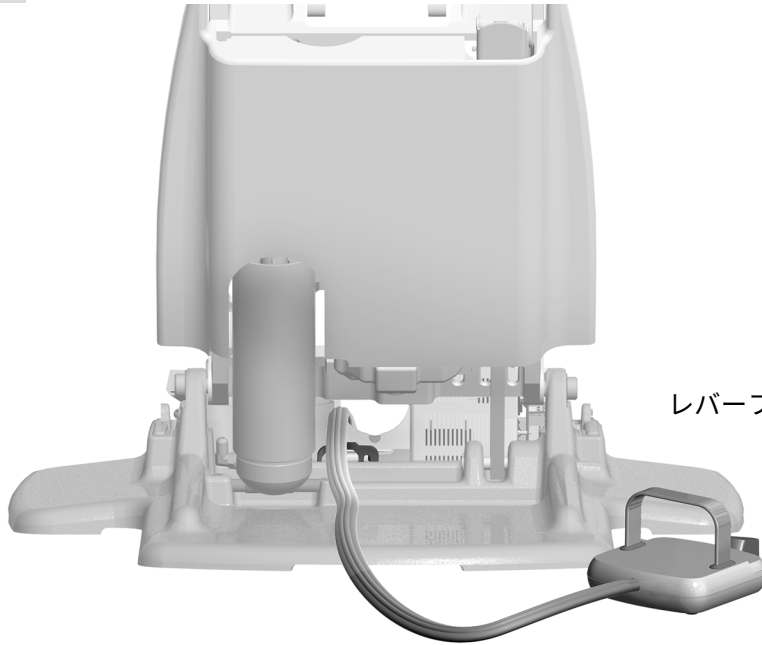
チューブの接続

フットコントロールの取り付け

推奨する工具

- ・ 3/16 インチの六角レンチ

手順 1.



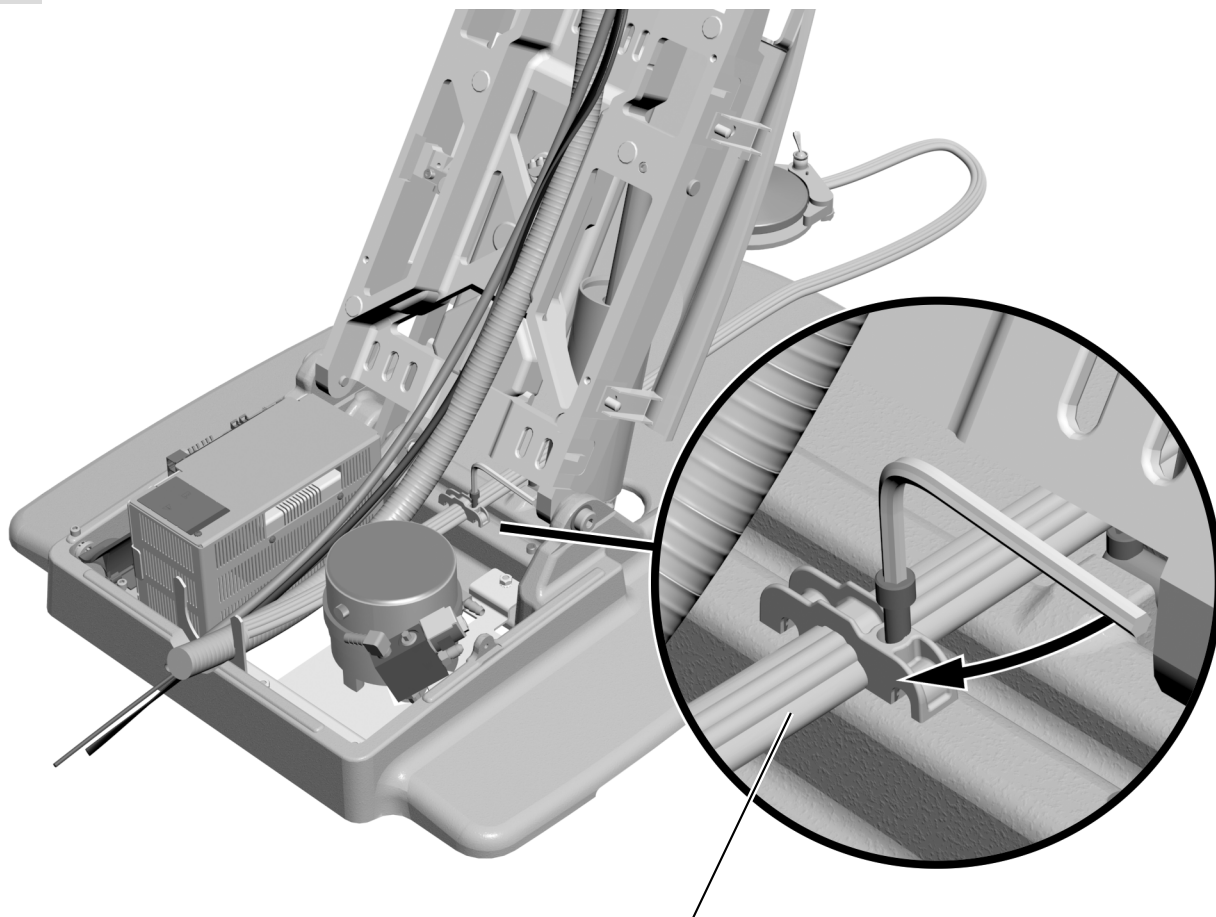
レバーフットコントロールの図



注意 チェアの使用中に機器が損傷する可能性があるため、フットコントロールのチューブは油圧チューブの下には通さないでください。

- 1** チェアの背面側から、張力緩和装置の上と電源装置の後ろを通るようにフットコントロールチューブを引きます。

手順 2.



- 1** 3/16 インチの六角レンチを使用して、フットコントロールチューブをチェアベースの張力緩和装置内に固定します。



注 適切に配置できるように、フットコントロールチューブの隆起部を上に向け、張力緩和装置の溝に合わせてください。

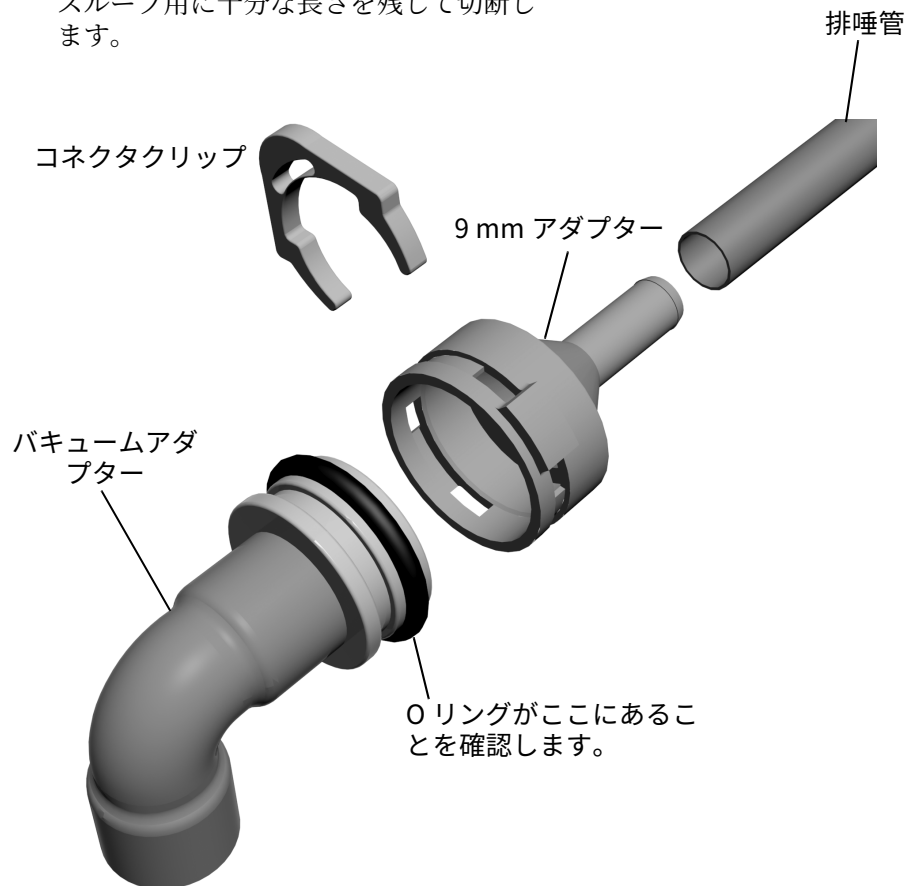
A-dec 336排唾管（SE）（オプション）チューブの接続

A-dec 336デリバリーシステムをオプションの排唾管とともに取り付ける場合は、以下の手順に従って排唾管のバキュームラインを接続します。

歯科助手用器具のないチェアへの排唾管チューブの接続

手順 1.

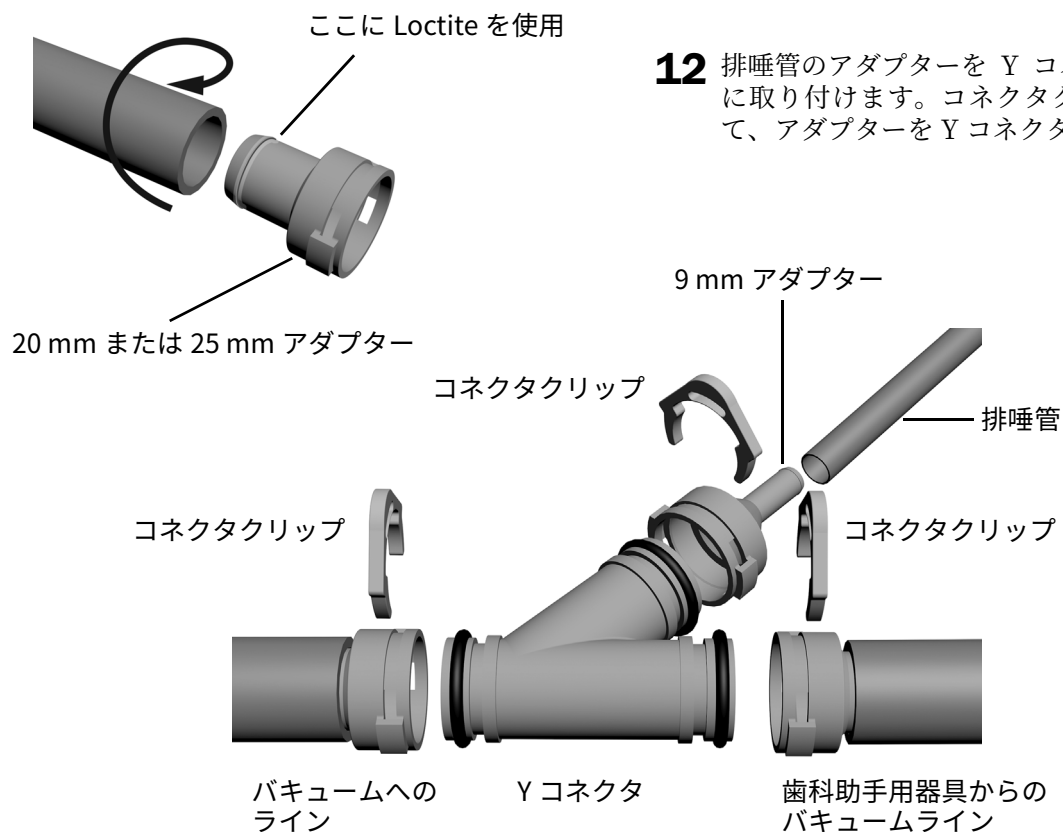
- 1 デリバリーシステムのチューブバンドル内の 5/16 インチ排唾管を見つけます。
- 2 排唾管をコンポリユートチューブに通し、フロアボックスに配管します。
- 3 バキュームアダプター（真鍮のカラー付き銅管）をバキュームラインに接続します。
- 4 排唾管をバキュームアダプターに接続します。余分なチューブを除去するため、サービスループ用に十分な長さを残して切断します。
- 5 排唾管を 9 mm アダプターに押しかぶせます。
- 6 バキュームアダプターの上に O リングが取り付けられていることを確認します。取り付けられていない場合は、アダプターの最初の溝に O リングを取り付けます。
- 7 排唾管の 9 mm アダプターをバキュームアダプターに取り付けます。コネクタクリップを使用して、チューブのコネクタをバキュームアダプターに固定します。



A-dec 351 または 551 歯科助手用器具付きチェアへの排唾管チューブの接続

手順 1.

- 1 歯科助手用器具のパキュウムラインをコンポリユートチューブに通し、フロアボックスに配管します。
- 2 排唾管をコンポリユートチューブに通し、フロアボックスに配管します。
- 3 Y コネクタをフロアボックス内の歯科助手用器具のパキュウムライン横に置きます。パキュウムラインを Y コネクタ上部の横で切断します。
- 4 いずれかのアダプターのリップに Loctite® 411 を塗布します。351 が取り付けられている場合は、20 mm のアダプターを使用します。551 が取り付けられている場合は、25 mm のアダプターを使用します。
- 5 コンポリユートチューブから来ているパキュウムラインを、回転させながらアダプターに押しかぶせます。
- 6 アダプターを Y コネクタの上部主要開口部に取り付けます。コネクタクリップを使用して、アダプターを Y コネクタに固定します。
- 7 残りのいずれかのアダプターのリップに Loctite 411 を塗布します。
- 8 パキュウムラインの残りの部分を回転させながらアダプターに押しかぶせます。
- 9 パキュウムラインをパキュウムソースに接続します。
- 10 アダプターを Y コネクタの下部開口部に取り付けます。コネクタクリップを使用して、アダプターを Y コネクタに固定します。
- 11 排唾管を 9 mm アダプターに押しかぶせます。
- 12 排唾管のアダプターを Y コネクタの横開口部に取り付けます。コネクタクリップを使用して、アダプターを Y コネクタに固定します。



配管の準備と接続

推奨する工具

- 斜ニッパー
- スリーブプッシャー

1. ウォーターボトルのチューブから 1 m (3 フィート) のシースを取り除きます。
2. 次のページのフローチャートに従ってチューブを接続します。



注意 フロアボックスからの青いチューブは接続しないでください。

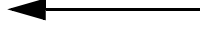


注 水マニホールドを取り付けるときは、マニホールド内で水が淀むのを避けるため、必ず端部にバープ継手を取り付けてください。

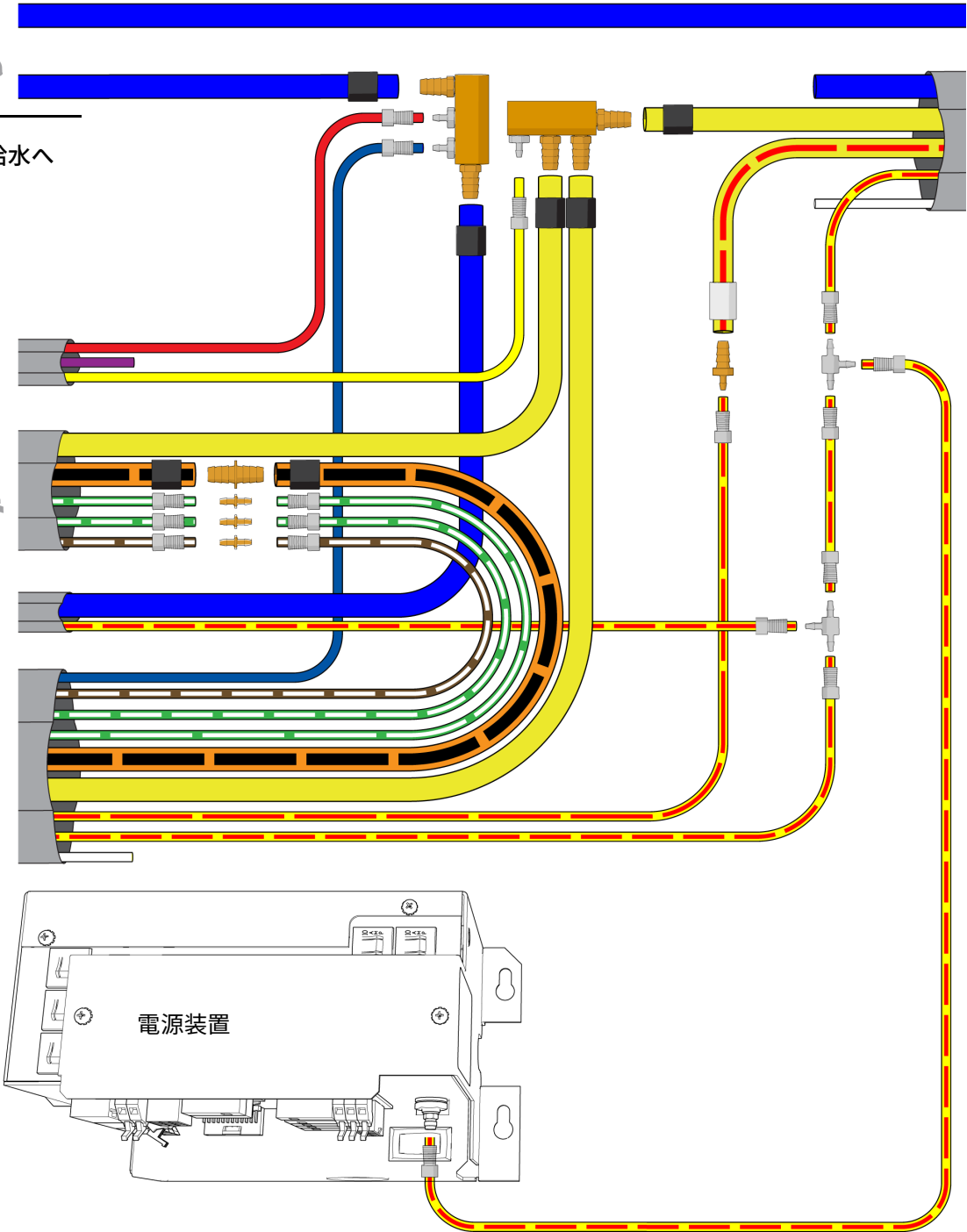
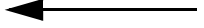


確認 コントロールヘッドの全可動域を確保するため、チューブを切断する前に必ずコントロールアームを最大の高さにしてください。コントロールアームを最大の高さに設定する方法については、48 ページの「コントロールヘッドの高さの調整 (A-dec 336 のみ)」を参照してください。

ボウル洗浄へ



コップ給水へ



フロアボックスユーティリティの接続

システムの構成に適した手順で接続を行います。

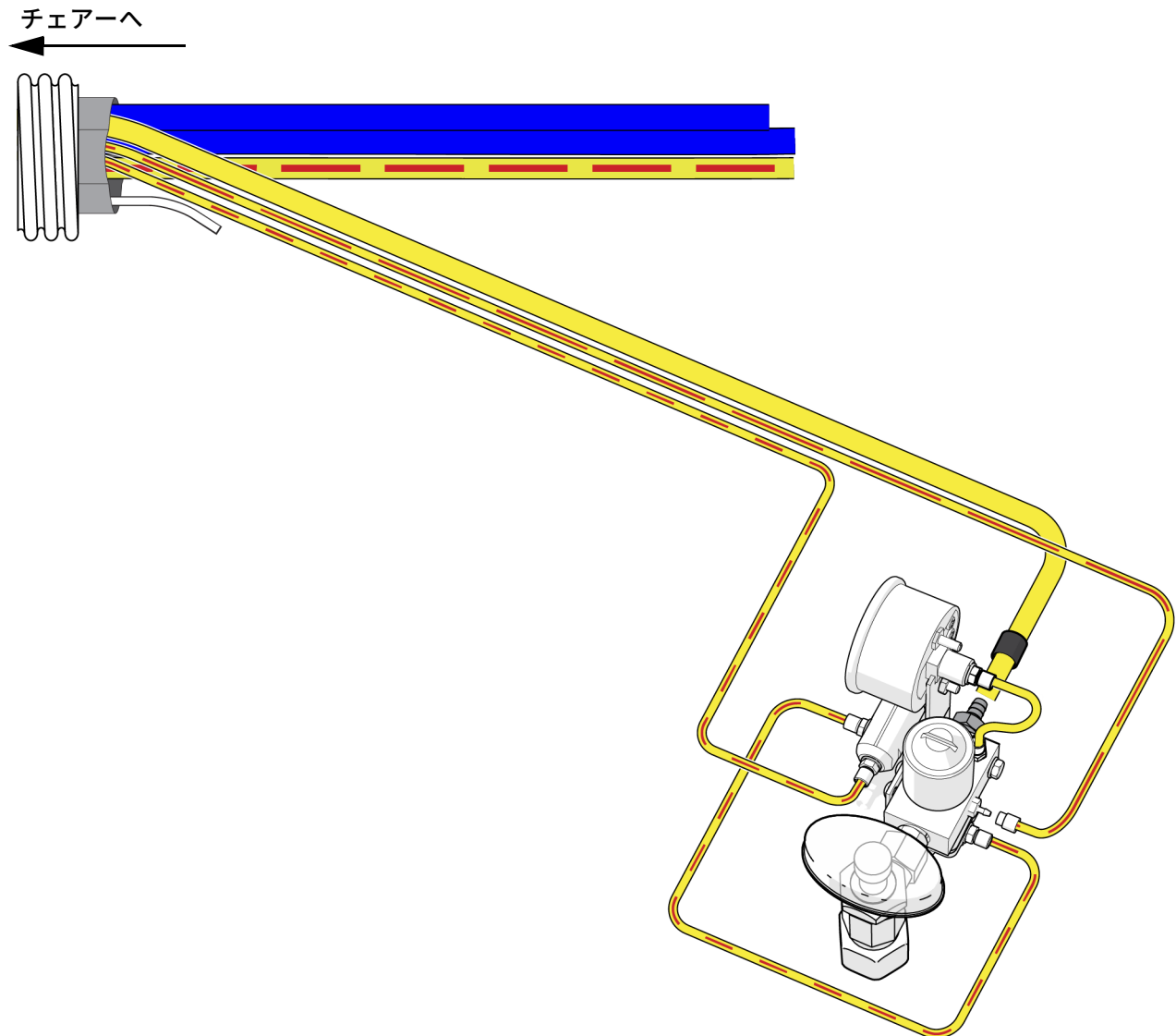
デリバリーシステムのための接続	43
複数のモジュールが含まれるシステムの接続	44

デリバリーシステムのための接続

システムにデリバリーシステム以外のモジュールが含まれていない場合は、この図を使用します。

推奨する工具

- 斜ニッパー
- スリーブプッシャー



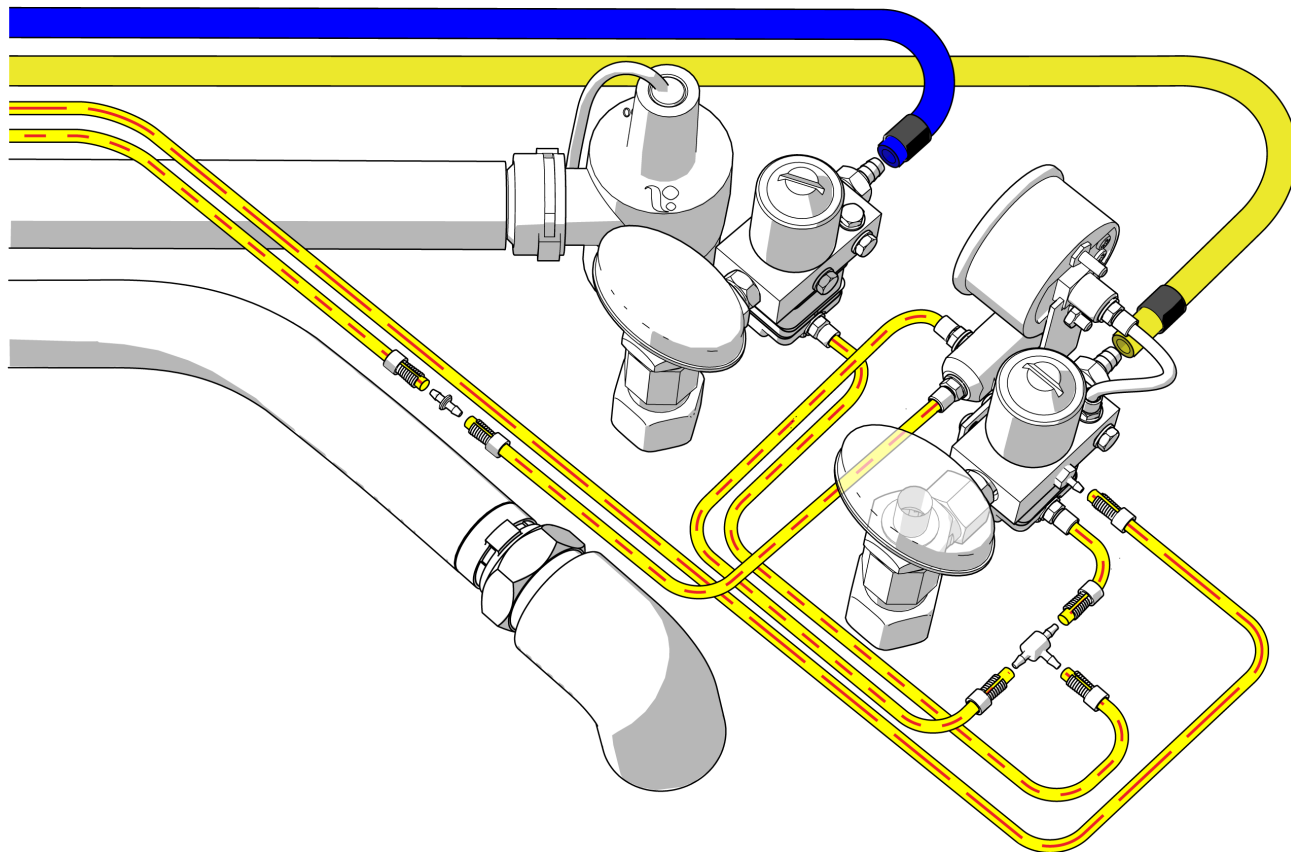
複数のモジュールが含まれるシステムの接続

システムにデリバリーシステムの他にもモジュールが含まれている場合は、この図を使用します。

推奨する工具

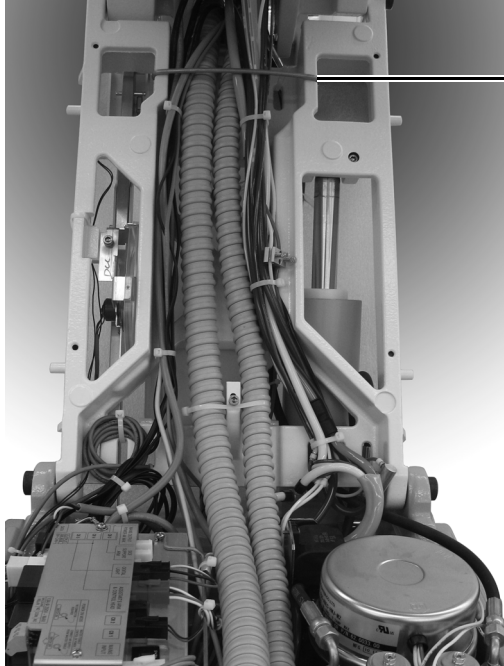
- 斜ニッパー
- スリーブプッシャー

チェアへ



システムの準備

配管と配線の固定



- 1 バイルを取り付けます。バイルはフロアボックスキットに同梱されています。



注意 チューブをリフトアームに固定しないでください。チェアが動いても、チューブは自由に動かせる必要があります。

- 2 ケーブル留めを使用してチューブとワイヤーをまとめ、外観を整えます。



注 チューブの接続と固定が完了したら、コントロールアームを医師の好みの高さに設定します。手順については、48 ページの「コントロールヘッドの高さの調整 (A-dec 336 のみ)」を参照してください。

ウォーターボトルの取り付け



警告 A-dec ICX® 給水処理錠剤が皮膚に直接触れないようにしてください。詳細については、ICX 錠剤に付属する取扱説明書 (部品番号 (P/N) 86.0613.05) を参照してください。

- 1 ウォーターライン処理手順に従い、ウォーターボトルに ICX 錠剤 (部品番号 (P/N) 90.1065.00) を投入します。



- 2 ボトルを水で満たします。

- 3 レセプタクルの O リングに A-dec シリコン潤滑油を塗布します。

- 4 ウォーターボトルを持ち上げてウォーターボトルレセプタクルに押しかぶせ、右に回転させます。

システムの調整

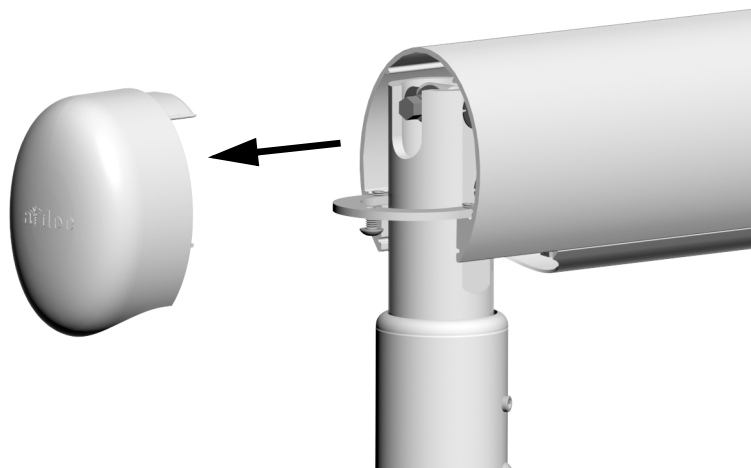
デリバリーシステムのバネ式フレックスアームの調整

マスタートグルスイッチをオフにしたときにコントロールヘッドが高速で上下に動く場合は、以下の手順を実行してフレックスアームのバネの張力を調整します。

推奨する工具

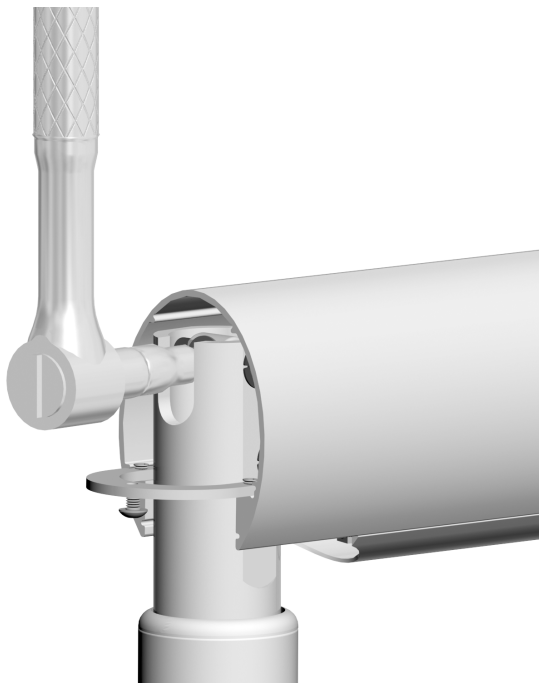
- 1/8 インチの六角レンチ
- 5/16 インチのソケットとラチェット

手順 1.



- 1** マスタートグルスイッチをオンにします。
- 2** コントロールヘッドに通常使用時と同じ荷重をかけます（ハンドピースを取り付け、トレイをトレイ・ホルダーにセットします）。
- 3** フレックスアームが水平になるようにコントロールヘッドの位置を調整します。
- 4** 1/8 インチ六角レンチを使用して、コントロールヘッドから最も遠いエンドキャップを取り外します。
- 5** マスタートグルスイッチをオフにします。

手順 2.



- 1** 5/16 インチのソケットとラチェットを使用して、マスタートグルスイッチをオフにしたときにコントロールヘッドがゆっくりと上昇するまでフレックスアームの突っ張り棒を調整します。

コントロールヘッドがずり上がる場合は、突っ張り棒を反時計回りに回します。

コントロールヘッドがずり落ちる場合は、突っ張り棒を時計回りに回します。

デリバリーシステムフレックスアームの回転張力の調整

フレックスアーム回転張力を調整する前に、システムを水平に調整する必要があります。調整手順については、59 ページのデリバリーシステムフレックスアームの回転張力の調整を参照してください。

デリバリーシステムのフレックスアーム回転停止ネジの取り付け

推奨する工具

- 1/8 インチの六角レンチ

- 1** 下部の穴に 10-32 x 1/2 インチのボタンボルトを差し込みます。
ボルトを最後までしっかりと締めます。

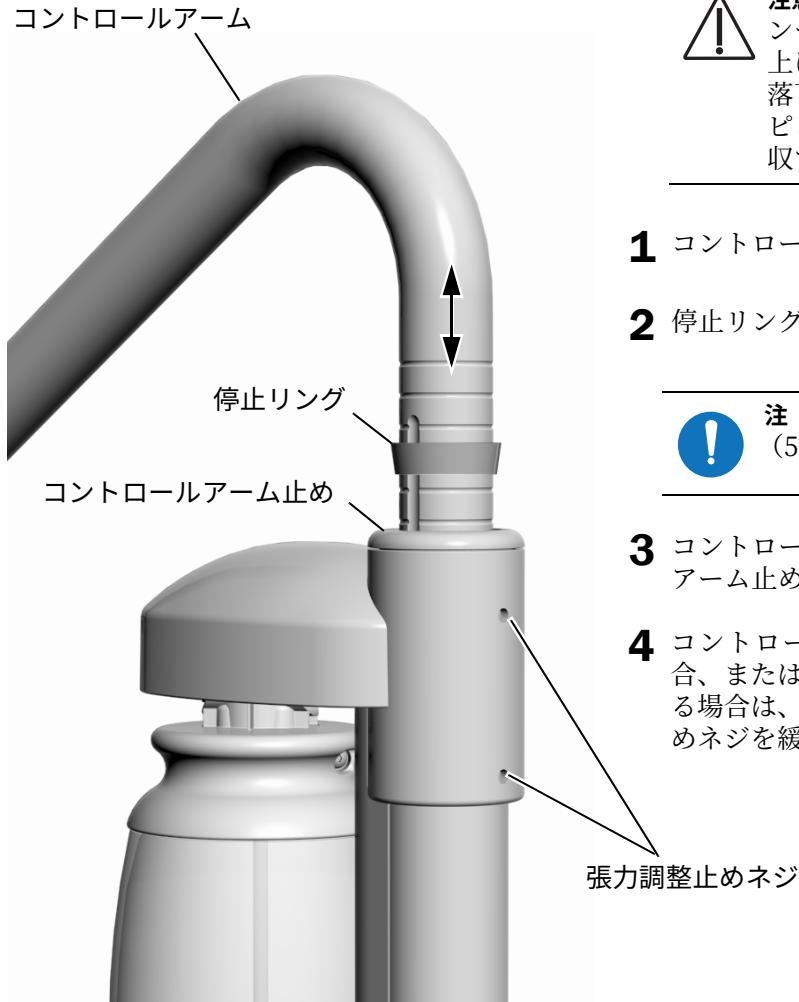


コントロールヘッドの高さの調整 (A-dec 336のみ)

手動高さ調整機能付きデリバリーシステムの高さを確認します。調整する必要がある場合は、以下の手順に従います。

推奨する工具

- 3/32 インチの六角レンチ



注意 コントロールアームを 127 mm (5 インチ) を超えて上げないでください。さらに上げた場合、回転停止ピンが固定アーム内に落下する恐れがあります (落下した回転停止ピンは、コントロールアームを取り外して回収する必要があります)。

- 1 コントロールアームを持ち上げます。
- 2 停止リングを目的の高さの溝までスライドさせます。



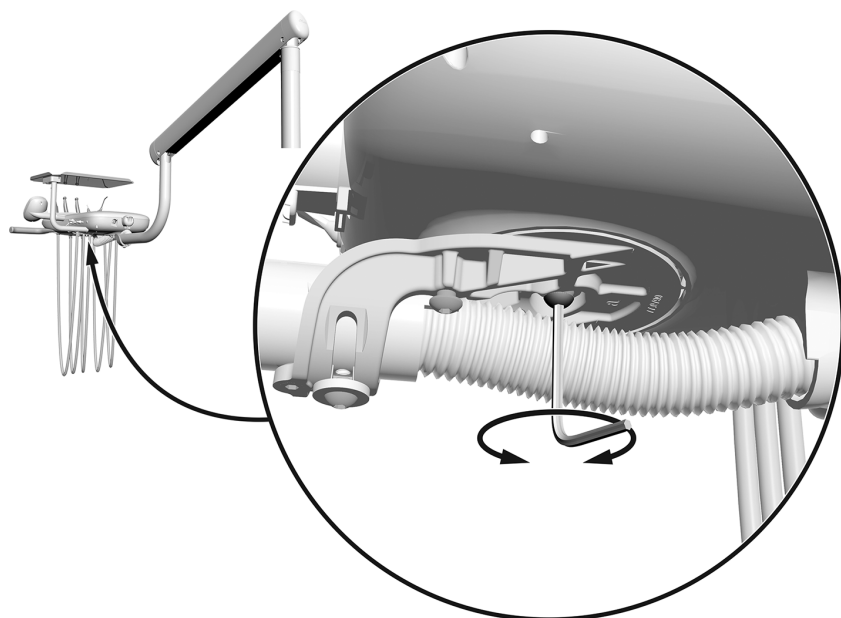
注 コントロールアームの高さは、127 mm (5インチ) までの範囲内で調整可能です。

- 3 コントロールアームと停止リングを、コントロールアーム止めに嵌まるまで下げます。
- 4 コントロールアームの持ち上げや回転が困難な場合、またはコントロールアームが自由に回転しすぎる場合は、六角レンチを使用して 2 本の張力調整止めネジを緩めるか締め付けてください。

コントロールヘッドの回転張力の調整

推奨する工具

- 5/32 インチの六角レンチ



- 1** 5/32 インチの六角レンチを時計回りに回すと、張力が強まります。

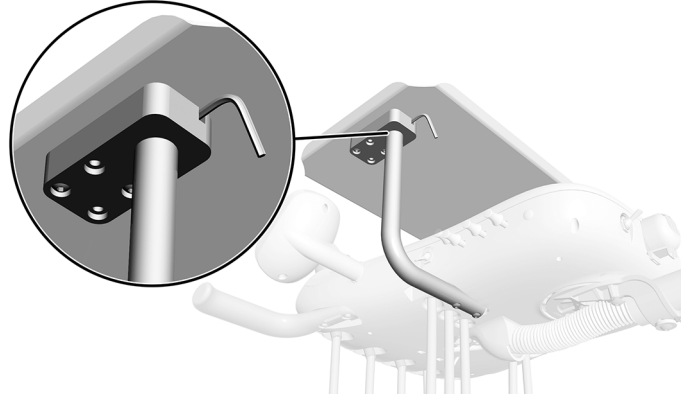
トレイの回転張力の調整

推奨する工具

- ・ 1/8 インチの六角レンチ

Traditional コントロールヘッド

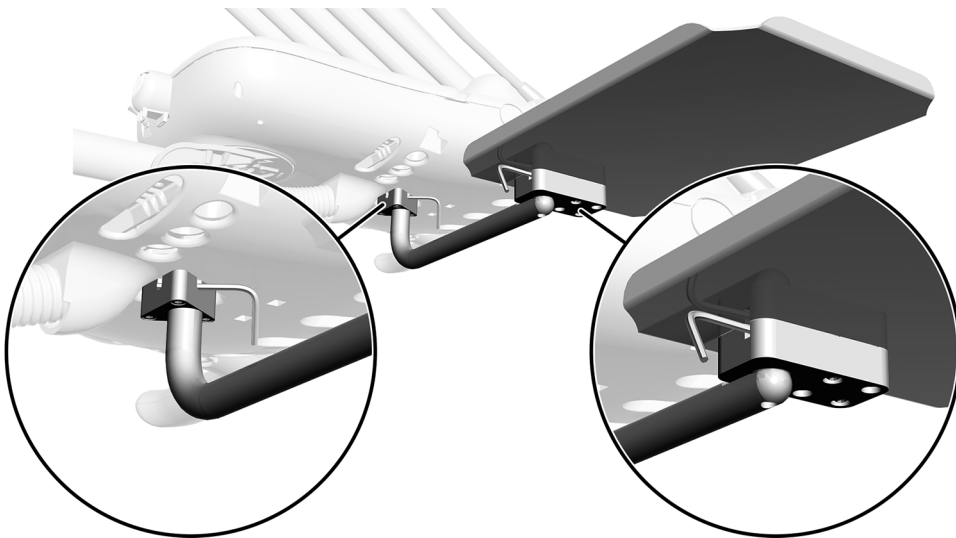
- 1** マウンティングブラケットに六角レンチを差し込みます。
レンチがマウンティングブラケットの奥まで入るよう、必要に応じてホルダーまたはアームを回転させます。
- 2** 張力を調整するには、トレイを回転させます。
時計回りに回すと、張力が強まります。



Continental コントロールヘッド

Continental コントロールヘッド上のトレイは2か所で調整できます。

- 1** マウンティングブラケットに六角レンチを差し込みます。
レンチがマウンティングブラケットの奥まで入るよう、必要に応じてホルダーまたはアームを回転させます。
- 2** 張力を調整するには、トレイを回転させます。時計回りに回すと、張力が強まります。



ハンドピース空気送出圧の調整

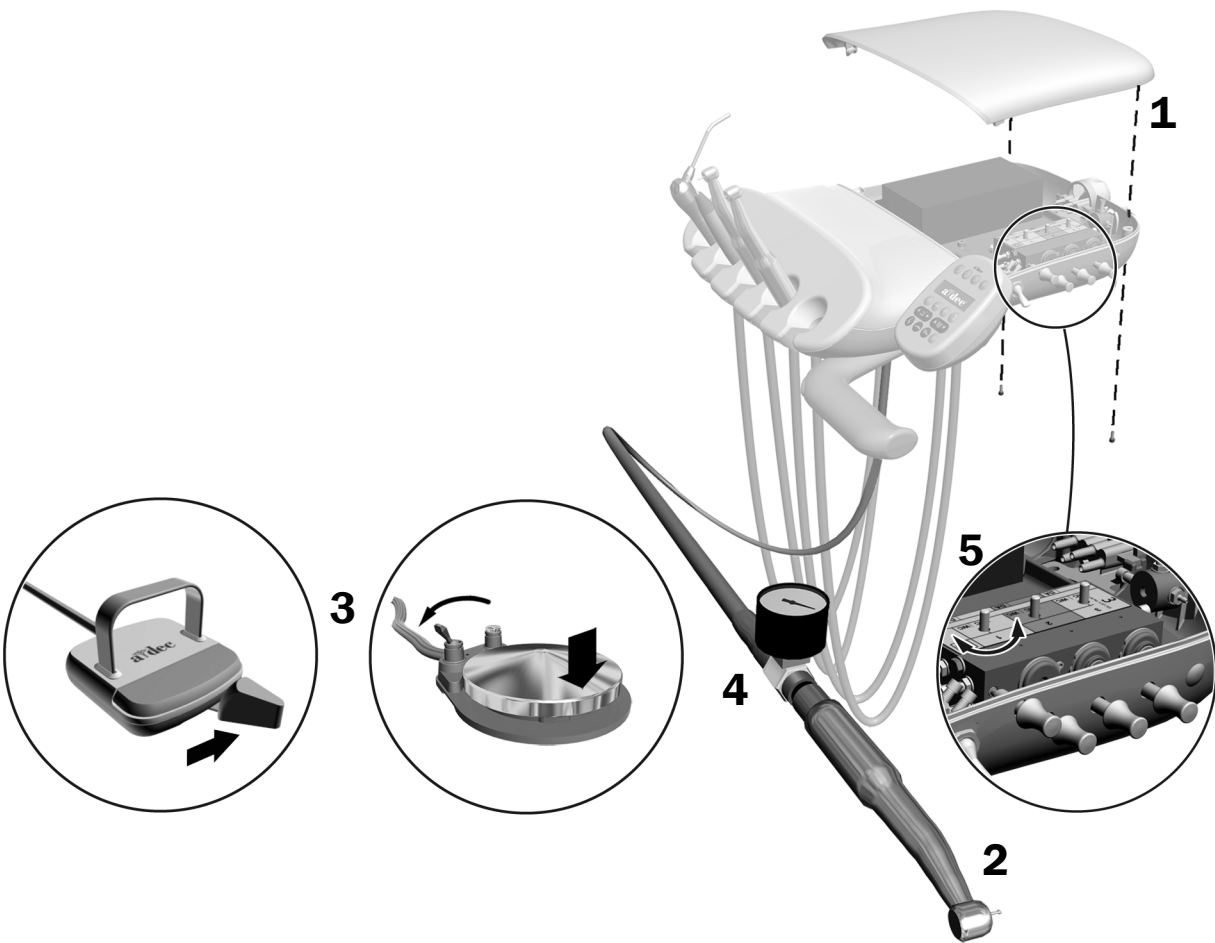
推奨する工具

- 7/64 インチの六角レンチ
- ハンドピースの圧力ゲージ



注 空気送出圧を正確に測定するには、ハンドピース管に接続した圧力ゲージを使用してください。1 バールは14.5 psiに相当します。

1. 六角レンチを使用して、コントロールヘッドカバーのネジを取り外します。カバーを取り外し、空気送出の圧力コントロールを見つけます。
2. ホルダーからハンドピースを取り出します。または、ホイップを前方に引き出します。
3. 次のうちいずれかを行います。
 - ディスクフットコントロールの場合：トグルスイッチをドライ（青いドットから離れた側）に切り替え、ディスクを踏みます。
 - レバーフットコントロールの場合：レバーを右端まで動かします。
4. ハンドピースが動作している状態で、ハンドピースの圧力ゲージを確認します。
5. メーカーの仕様に従って空気送出圧を調整します。圧力を下げるには、軸を時計回りに回転します。



口腔内光源電圧の調整

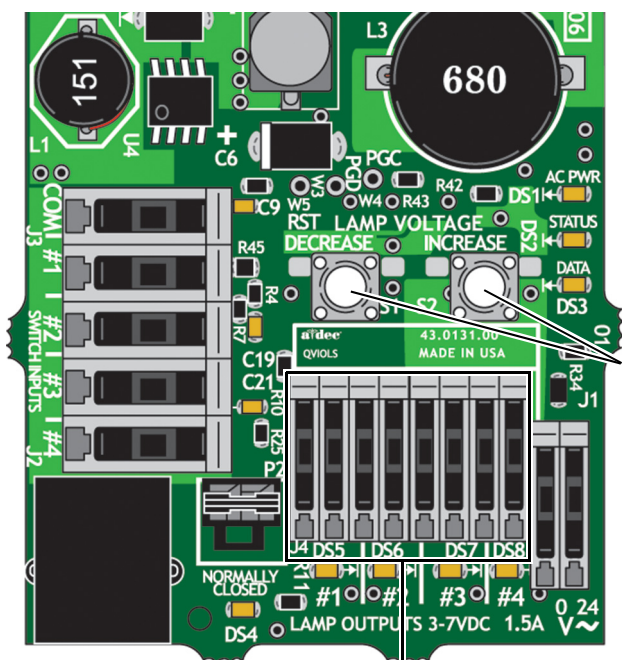
推奨する工具

- 7/64 インチの六角レンチ
- 電圧計



注記 回路基板は静電気の影響を受けやすい部品です。回路基板に触れる場合、あるいは回路基板への接続または回路基板からの接続を行う場合は、静電放電（ESD）対策が必要です。回路基板の取り付けは、必ず電気技師または適切な資格を持った整備担当者が行ってください。

1. コントロールヘッドの背面カバーを取り外します。
2. DC 電圧に電圧計をセットし、計測するハンドピースの IOLS 出力端子に探針を取り付けます。



これらのボタンを使用して電圧を調整します。

IOLS 出力端子

3. ハンドピースをホルダーから取り出し、フットコントロールを踏みます。
4. 端子の後ろにあるボタンを使用し、次のページの表に従って電圧を調整します。



注意 以下の表に示す値は、26 AWG ワイヤー、750 mA 負荷、およびバルブでの電圧が推奨値 3.2 VDC の光ファイバーの場合のみ有効です。26 AWG ワイヤーとその他の定格で電力が供給される光ファイバーについては、 $T = (Z \times 0.006 \times Y) + X$ という数式で計算してください。各項は以下を示します。

T = 端子板電圧 (VDC)

X = バルブにおける目標電圧 (VDC)

Y = 定格ランプ / 負荷電流 (アンペア値)

Z = 端子板からバルブまでの 26 AWG ワイヤーの長さ (インチ)

26 AWG 以外のワイヤーゲージを使用する機器については、A-dec カスタマーサービスまでお問い合わせください。

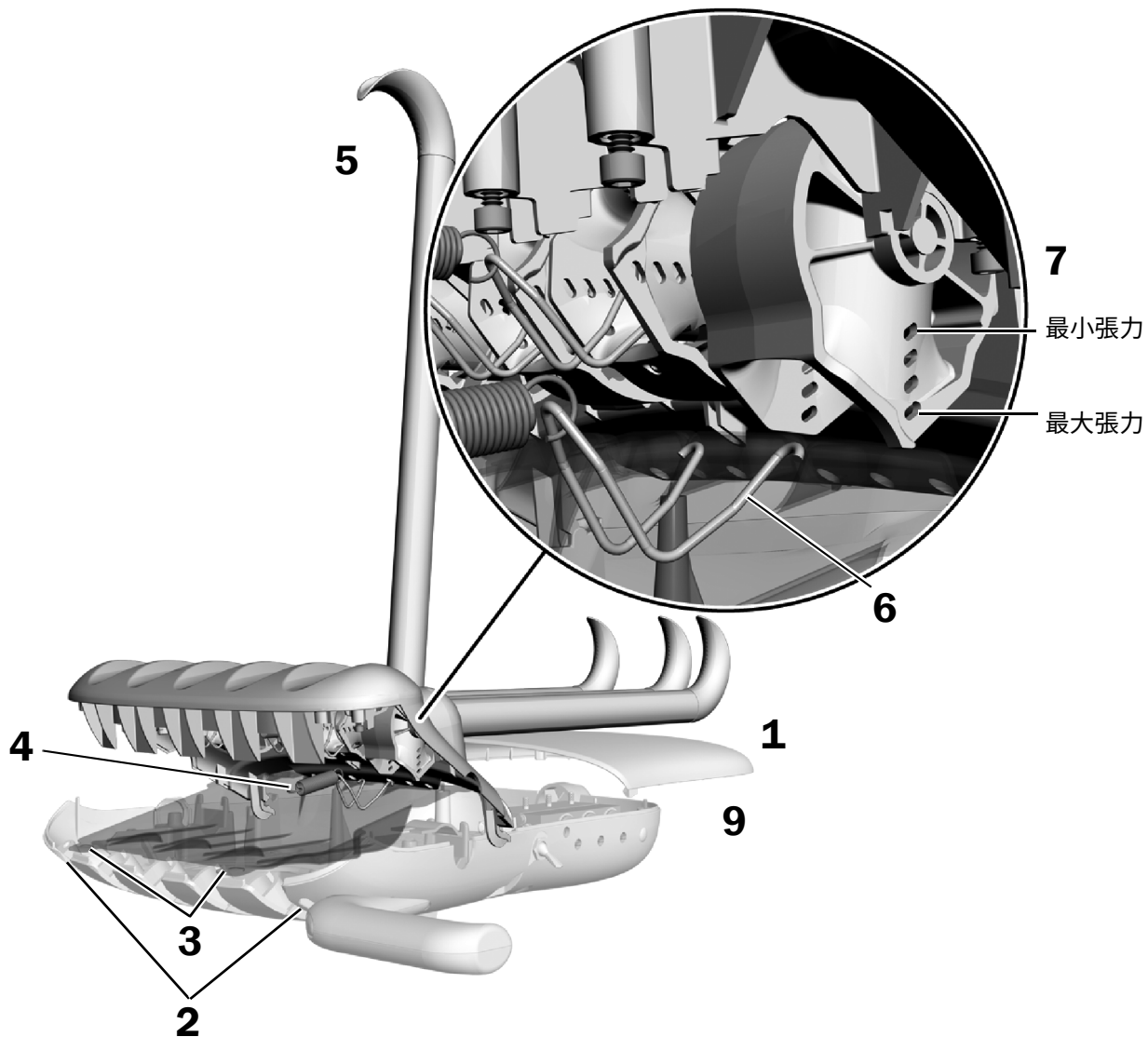
A-dec のバルブ (定格 3.2V) の長さおよび電圧の表					
A-dec チューブにおける ワイヤー長		バルブでの電圧を推奨値 3.2V にするための端子板での電圧	A-dec チューブにおける ワイヤー長		バルブでの電圧を推奨値 3.2V にするための端子板での電圧
(インチ)	(cm)	VDC ± 0.02	(インチ)	(cm)	VDC ± 0.02
48	122	3.40	108	274	3.69
54	137	3.43	114	290	3.72
60	152	3.46	120	305	3.75
66	168	3.49	126	320	3.78
72	183	3.52	132	335	3.81
78	198	3.55	138	351	3.84
84	213	3.58	144	366	3.87
90	229	3.61	150	381	3.90
96	244	3.64	156	396	3.93
102	259	3.67			

Continentalホイップの張力調整

推奨する工具

- ・ 7/64 インチの六角レンチ

1. コントロールヘッドの背面カバーを取り外します。
2. コントロールヘッドの前面カバーを留めている 2 本のネジを緩め、カバーを持ち上げます。
3. ドリップシールドの上部にある 2 つのタブを引き出して、シールドを引き下ろします。
4. 前面カバーのバネを取り外します。
5. ホイップを前方に引きます。
6. コントロールヘッドからベイルを取り外すには、ベイルを両側から強めにつかんで先端をフレームの穴から抜きます。
7. 必要なホイップ張力を得られる穴にベイルの先端を挿入してから、バネを戻します。
8. 調整するホイップごとに手順 4～7 を繰り返します。
9. コントロールヘッドの背面カバーを再度取り付けます。

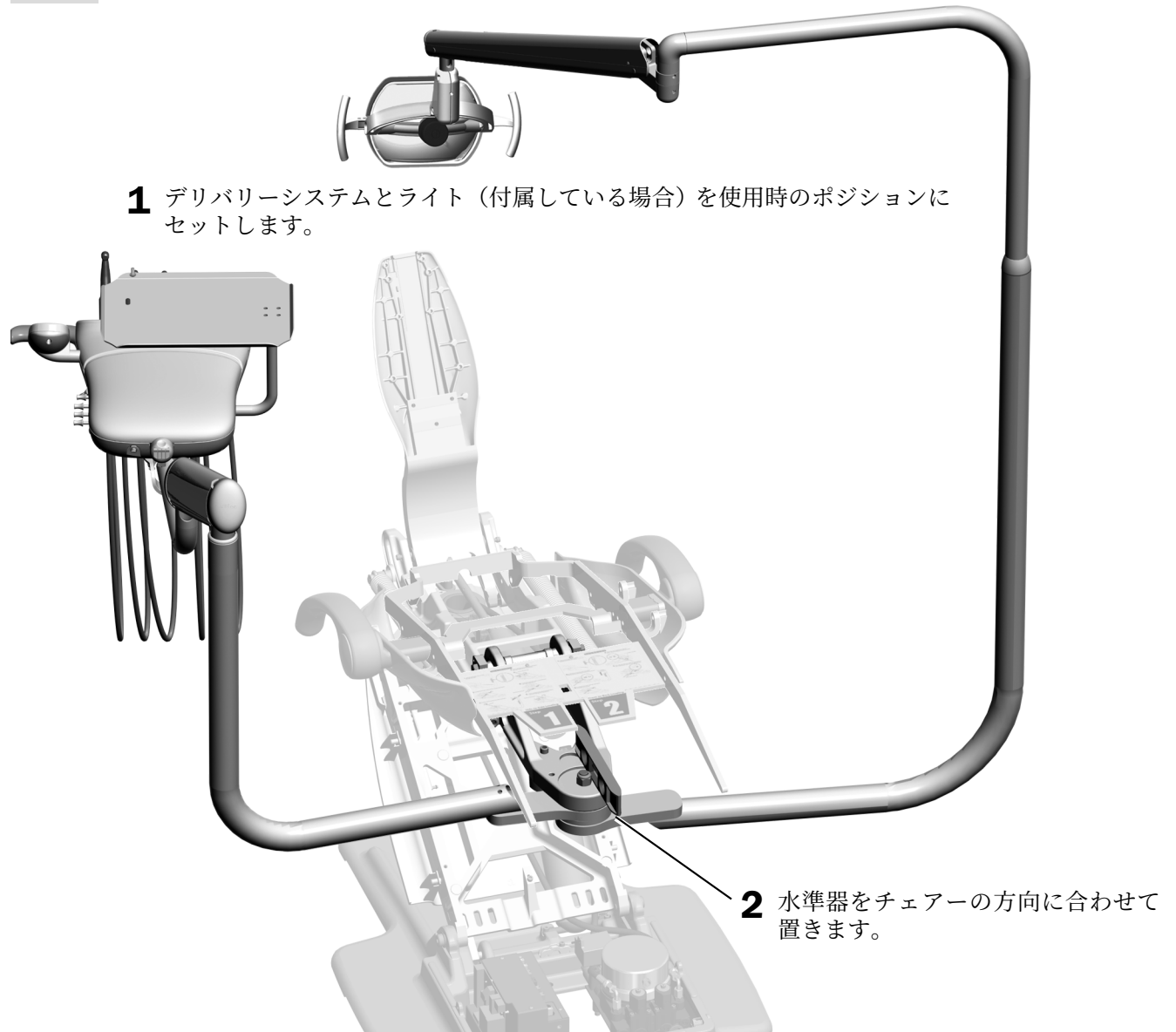


正面取付部の水平調整 (2011年4月よりも後に製造されたチェアのみ)

推奨する工具

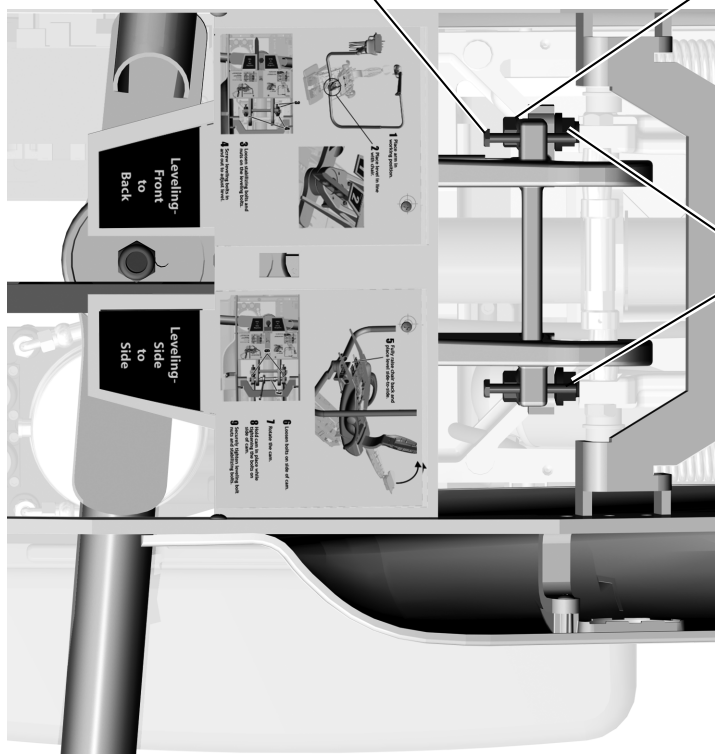
- 水準器
- 5/8 インチおよび 3/4 インチのコンビネーション・レンチ
- 7/16 インチのナットドライバー

手順 1.



手順 2.

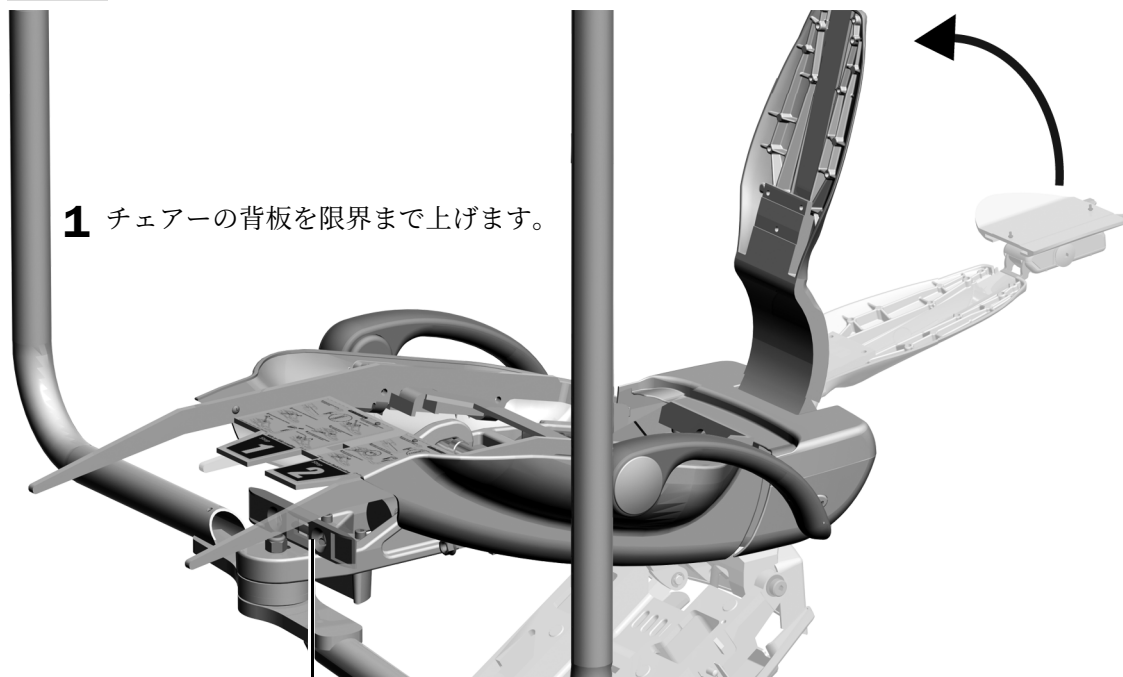
- 1 チェアフレームから固定ボルトを後退させ、数個のネジ山だけがキャスティングから突き出た状態にします。
- 2 両方のレベリングボルトのナットを緩めます。



- 3 レベリングボルトをいずれかの方向へ回転させて、固定アームの前後を水平に調整します。

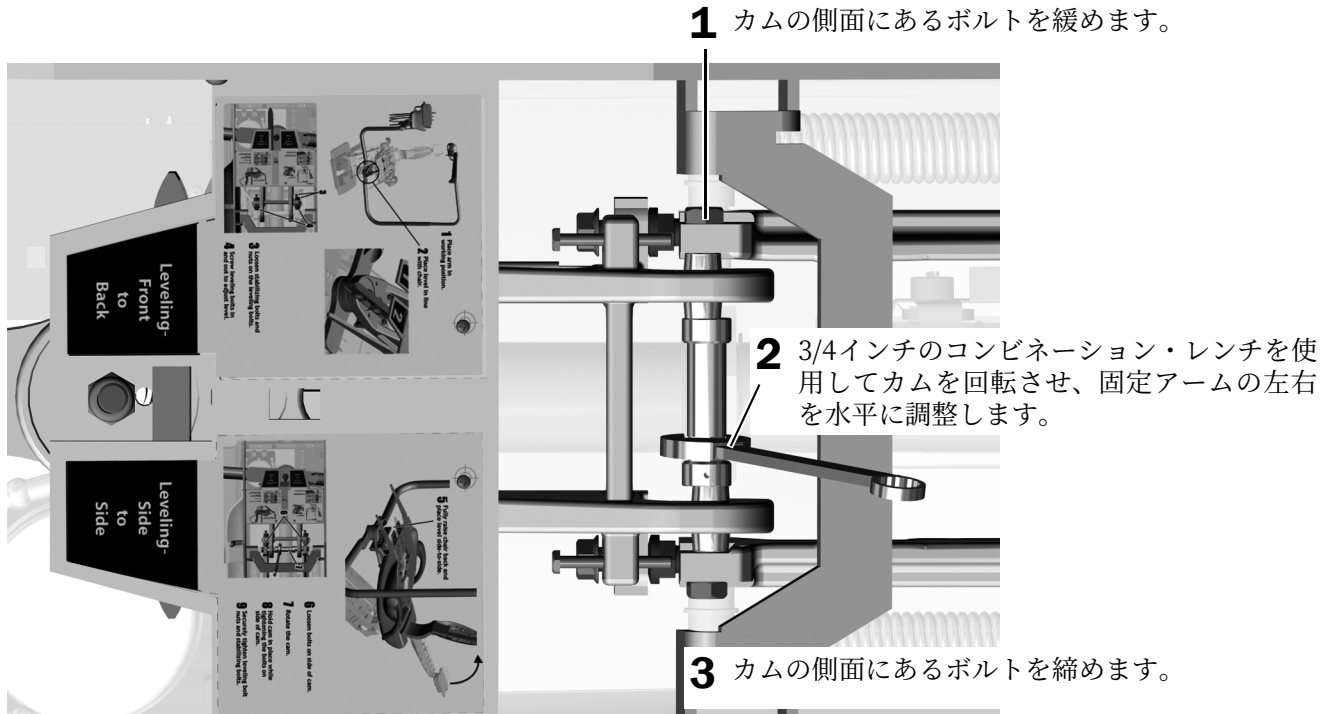
手順 3.

- 1 チェアの背板を限界まで上げます。

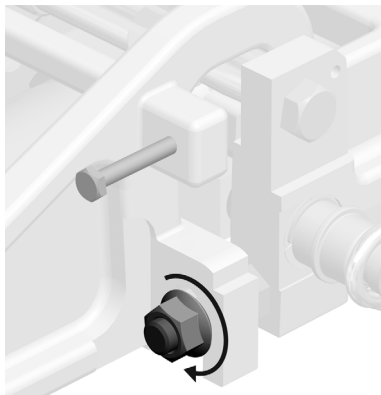


- 2 水準器をマウント上に横向きに置きます。

手順 4.

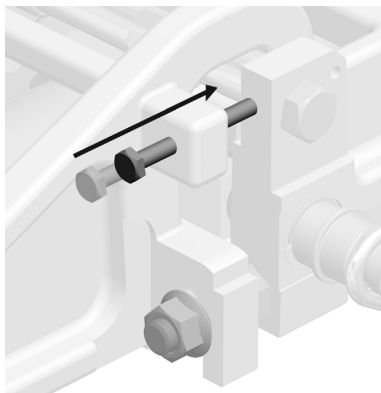


手順 5.



- 1 正面取付部の両側にあるレベリングボルトのナットを締めます。

手順 6.



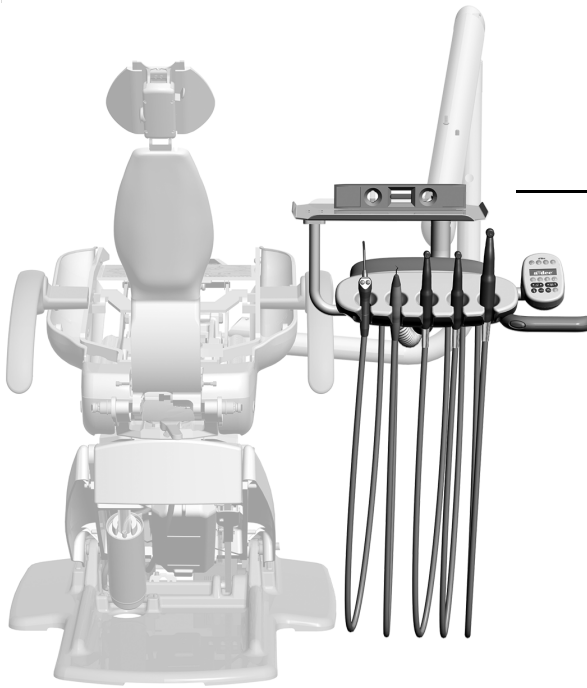
- 1 正面取付部の両側の固定ボルトを、チェアーキャスティングに触れるまで締めます。

デリバリーシステムの水平調整

推奨する工具

- 5/32 インチの六角レンチ

手順 1.



- 1** コントロールヘッドを通常使用時のポジションにセットした状態で、フレックスアームと直線上に並ぶように動かします。
- 2** 水準器をトレイ・ホルダーまたはコントロールヘッドの上に置きます。

手順 2.

- 1** レベリングスクリューをわずかに緩めます。

- 2** ボタンボルトをわずかに緩めます。

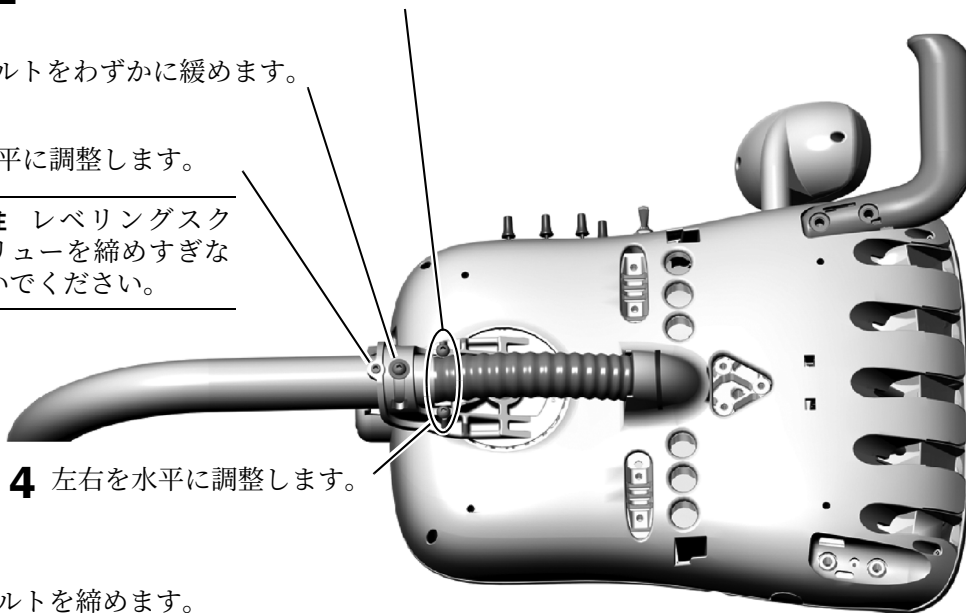
- 3** 前後を水平に調整します。



注 レベリングスクリューを締めすぎないでください。

- 4** 左右を水平に調整します。

- 5** ボタンボルトを締めます。



デリバリーシステムフレックスアームの回転張力の調整



注 2011年4月およびそれ以前に製造されたチェアの場合は、この調整の前にシステムの水平調整を行う必要があります。これらのシステムの水平調整については、55ページの「正面取付部の水平調整（2011年4月よりも後に製造されたチェアのみ）」を参照してください。

推奨する工具

- 1/8 インチの六角レンチ

デリバリーシステムのアームに意図しない滑りやずれがある場合は、以下の手順に従ってフレックスアームの回転張力を調整します。



- 1** コントロールヘッドに通常使用時と同じ荷重をかけます。
- 2** 1/8 インチの六角レンチを使用して、上部のネジを調整します。時計回りに回すと、張力が強まります。

タッチパッドとハンドピースの設定のカスタマイズ



注 タッチパッド上の記号やアイコンは、A-dec Inc.の専有物です。

整備技師用タッチパッド設定

デラックスタッチパッドでは、整備技師がユーザー設定にアクセスして、ハンドピースやタッチパッドの設定を調節できます。設定モードに切り替えるには、[System Setup] 画面が表示されるまで **m** と **e** を同時に長押しし、続いて **▶** を押します。

A-dec 300 デラックスタッチパッドの設定画面の例



タッチパッドボタンでのナビゲーション

設定モードでは、チェアボタンがナビゲーションボタンとして機能します。背板の上昇 (**▶**)、背板降下 (**◀**)、ベース上昇 (**▲**)、ベース降下 (**▼**) のほか、マイナス (**⊖**) およびプラス (**⊕**) ボタンを使用して画面を操作し、設定画面で調整や選択を行います。

コントラスト/ヘルプメッセージの設定

タッチパッドの画面コントラストを調整したり、ヘルプメッセージのオン / オフを切り替えるには、以下の手順を実行します。

1. デラックスタッチパッドのメイン画面で、**m** と **e** を同時に3秒間押し続けてから、**▶** を押して開始します。
2. [System Setup] 画面で、**⊖** または **⊕** を押して [Touchpad] を選択し、**▶** を押して開始します。
3. [Touchpad Setup] 画面で、[Contrast Adjust] または [Help Messages] が画面に表示されるまで **⊖** または **⊕** を押し続け、続いて **▶** を押して [Contrast Adjust Setup] または [Help Messages Setup] 画面を開きます。
 - [Contrast Adjust Setup] 画面では：**⊖** または **⊕** を押してコントラストを調整してから、**▶** を押して設定を保存します。ビーブ音が3回鳴り、設定が保存されたことを示します。
 - [Help Messages Setup] 画面では：**⊖** または **⊕** を押してヘルプメッセージを [On] または [Off] にしてから、**▶** を押して設定を保存します。ビーブ音が3回鳴り、設定が保存されたことを示します。
4. タッチパッドの設定調整が完了したら、A-dec のロゴが表示されるまで **◀** を押し続けます。



注 ヘルプメッセージの一覧は、『規制情報、仕様および保証』（部品番号 (P/N) 86.0221.05) に記載されています。この文書は、www.a-dec.com のリソースセンターから入手できます。

ハンドピース・ホルダーの設定

各ハンドピース・ホルダー用にハンドピースを設定できます。ハンドピースの種類には、ベーシックエアー、カメラ、電動、その他、超音波、バキューム、タービンなどがあります。

ハンドピース・ホルダーを設定するには、以下の手順を実行します。

1. [System Setup] 画面が表示されるまで **m** と **e** を同時に長押しし、続いて **▶** を押します。
2. [System Setup] 画面で **−** または **+** を押して [Handpieces] をハイライト表示し、続いて **▶** を押します。
3. [Handpiece Setup] 画面で **−** または **+** を押して [Holder Setup] をハイライト表示し、続いて **▶** を押します。
4. 設定するハンドピースをホルダーから取り上げます。
5. [Holder Setup] 画面で **−** または **+** を押してハンドピースの種類を選択し、その種類に応じて以下のいずれかを行います。
 - **Electric** : 設定手順については、コントロールモジュールに同梱されている説明書をご覧ください。
 - **All other Types** : **▶** を押します。ビープ音が3回鳴り、設定が保存されたことを示します。
6. ハンドピースをホルダーに戻します。
7. 起動している各ハンドピースで手順4～6を繰り返し、設定を行います。
8. ハンドピースの設定が完了したら、A-dec ロゴが表示されるまで **◀** を押します。

口腔内光源の設定



注 クアッド電圧口腔内光源 (QVIOLS) または IOLS コントロールが内蔵された電動モーターコントローラが取り付けられている場合、A-dec 300 デラックスタッチパッドでは、さまざまな口腔内光源オプションを設定できます。

以下の設定が可能です。

- **On When Selected:** ホルダーからハンドピースを取り上げたときに口腔内光源を点灯するか消灯したままにするかを指定します。
- **Auto Off Delay:** フットコントロールを放してから口腔内光源を消灯するまでの時間を指定します。この時間は、空気送出を再度使用するとリセットされます。
- **On in Endo:** Endodontics モードの選択時に口腔内光源を点灯するか消灯するかを指定します。歯内治療用ハンドピースのほとんどが光ファイバーを装備していないことから、光源熱を軽減しバルブの寿命を延ばすために [Off] を選択することが推奨されます。

口腔内光源を設定するには、以下の手順を実行します。

1. デラックスタッチパッドのメイン画面で、**m** と **e** を同時に 3 秒間押し続けてから、**▶** を押して開始します。
2. [System Setup] 画面で **−** または **+** を押して [Handpieces] をハイライト表示し、**▶** を押します。
3. [Handpiece Setup] 画面で **−** または **+** を押して [Intraoral Lt Source] をハイライト表示し、**▶** を押します。
4. 設定するハンドピースをホルダーから取り上げます。
5. [Light Source Setup] 画面で **−** または **+** を押して目的の設定を表示し、**▶** を押します。
6. **−** または **+** および **▶** を押して画面間を移動し、ハンドピースの設定を指定します。設定が完了すると、ピープ音が 3 回鳴ります。
7. 設定ごとに手順 5 と 6 を繰り返します。
8. ハンドピースをホルダーに戻します。
9. 各ハンドピースに対し手順 3～8 を繰り返して、設定を行います。
10. ハンドピースの設定が完了したら、A-dec ロゴが表示されるまで **◀** を押します。

システムのテスト

以下のチェックリストの各項目をチェックし、お客様と確認作業を行います。

デリバリーシステム

- ハンドピースが正しく機能し、医師の意向に沿って設定されているか。
 - 水冷却、空気冷却、およびスプレー
 - ハンドピース管のフラッシュ
 - ハンドピース・ホルダーのバルブとスイッチ
 - ハンドピース空気送出圧
- フレックスアームのブレーキが適切に機能するか。
- コントロールヘッドは水平か。
- フットコントロールは正常に動作するか。

ユーティリティ

- 空気圧が 552 kPa (80 psi) に調整されているか。
- フロアボックスに空気および水の漏れがないか。
- チューブや接続にねじれがないか、また空気および水の漏れがないか。
- 余分なチューブやワイヤーがコイル状に巻かれて可動部品から離れた場所に収められているか。

規制情報および保証

当局から指定された規制に関する情報と A-dec の保証については、『*規制情報、仕様および保証*』（部品番号 (P/N) 86.0221.05) に記載されています。この文書は、www.a-dec.com のリソースセンターから入手できます。

Loctite は Henkel Corporation の米国における登録商標であり、その他の国においても商標または登録商標である可能性があります。



A-dec 本社

2601 Crestview Drive
Newberg, OR 97132 USA
電話：1.800.547.1883 米国/カナダ国内
電話：1.503.538.7478 米国/カナダ国外
www.a-dec.com

A-dec, Inc. は本書の内容について、商品性および特定用途への適合性の黙示的保証を含む（ただしこれに限定されない）一切の保証を行いません。



86.0307.05 Rev G
発行日：2021-12-08
Copyright 2021 A-dec, Inc.
無断複写・複製・転載を禁ず。
IGrphpor22